

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-8

<第50週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向

<11月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症について



注目すべき感染症  
P.9-13

<インフルエンザ> 定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、第50週は5.7であった

<感染性胃腸炎> 定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い



病原体情報  
P.14-17

インフルエンザウイルス 2007/08シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2007/08シーズン / 麻疹ウイルス 2007年



速報  
P.18-19

家庭用超音波式加湿器が感染源と考えられたレジオネラ症の1例 - 新潟市



海外感染症情報  
P.20

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / スーダンでのリフトバレー熱流行状況



感染症の話  
P.21

<今週はお休みです>



読者のコーナー  
<今週は該当記事はありません>



グラフ総覧(50週)  
P.22-28



グラフ総覧(11月)  
P.29-33



11月のデータ  
P.34-36



50週のデータ  
P.37-49



# 発生動向総覧

2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

## < 第50週コメント > 12月19日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

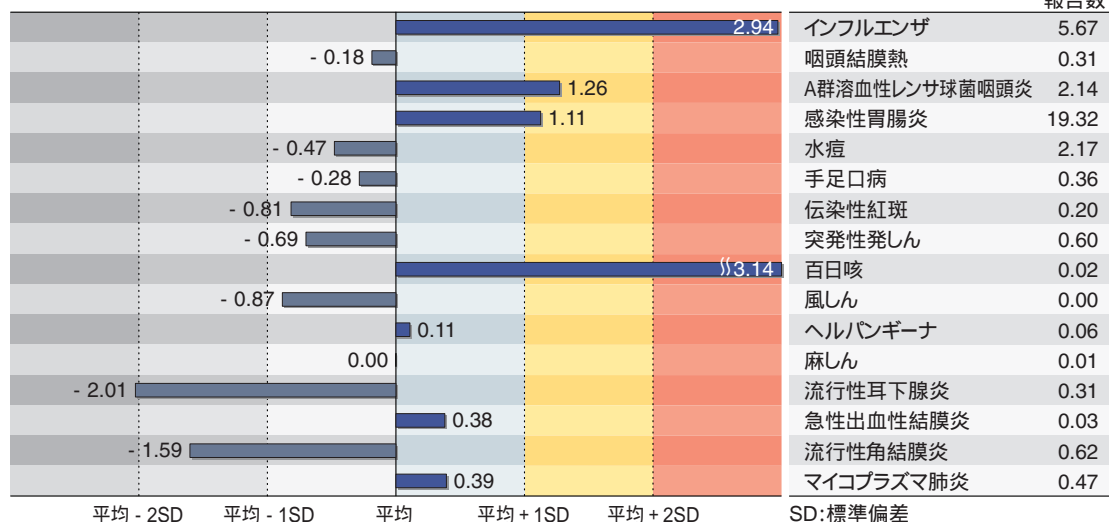
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核 269例
- 3類感染症: 細菌性赤痢 1例( 感染地域: ベトナム )
  - 腸管出血性大腸菌感染症 27例( うち有症者13例、うちHUS 1例 )
  - 感染地域: すべて国内
  - 国内の多い感染地域: 兵庫県( 12例 )\*
  - \*うち10例は保育園における集団発生
  - 年齢群: 10歳未満( 11例 )、10代( 2例 )、20代( 5例 )、30代( 4例 )、40代( 3例 )、50代( 1例 )、70代( 1例 )
  - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2( 10例 )、O91 VT1( 1例 )、O111 VT1・VT2( 1例 )、O157 VT2( 1例 )、その他/不明( 14例 )
  - 腸チフス 2例( 感染地域: インド1例、ラオス1例 )
- 4類感染症: A型肝炎 1例( 感染地域: 京都府 )
  - オウム病 1例( 感染地域: 埼玉県 . 感染源: 不明 )
  - Q熱 1例( 感染地域: 兵庫県 . 感染源: イヌ )
  - つつが虫病 20例( 感染地域: 福島県4例、千葉県4例、鹿児島県3例、岐阜県2例、東京都1例、神奈川県1例、長野県1例、和歌山県1例、鳥取県1例、長崎県1例、宮崎県1例 )
  - デング熱 2例( 感染地域: タイ1例、インド1例 )
  - マラリア 1例( 三日熱\_\_感染地域: インド )
  - ライム病 1例( 感染地域: 鹿児島県 )
  - レジオネラ症 9例( 肺炎型8例、ポンティアック型1例 )
  - 年齢群: 30代1例、60代3例、70代2例、80代3例
  - 感染地域: 北海道1例、新潟県( 温泉 )1例、石川県1例、岐阜県1例、奈良県1例、広島県1例、国内( 都道府県不明 )2例、台湾1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 7例( 腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症1例 )
  - 感染地域: 国内6例、国外( 国不明 )1例
  - 感染経路: 経口2例、性的接触3例( 異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明1例 )、肛門異物挿入1例、不明1例
  - 急性脳炎 1例( A型インフルエンザウイルス . 1歳 )
  - クロイツフェルト・ヤコブ病 4例( すべて孤発性プリオン病古典型 )
  - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例( 90代 )
  - 後天性免疫不全症候群 11例( AIDS 4例、無症候6例、その他1例 )
  - 感染地域: 国内10例、カンボジア1例
  - 感染経路: 性的接触9例( 異性間3例、同性間6例 )、不明2例
  - 髄膜炎菌性髄膜炎 1例( 感染地域: 国内 )
  - 梅毒 9例( 早期顕症I期3例、早期顕症II期1例、無症候5例 )
  - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
  - ( 遺伝子型: とともにVanC\_\_菌検出検体: とともに血液 )

( 補 )他に第49週までに診断されたものの報告遅れとして、急性脳炎3例( A型インフルエンザ1例( 8歳 . 死亡 )、病原体不明2例( 0歳、60代 )、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例( 90代 . 死亡 )等の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第50週 )



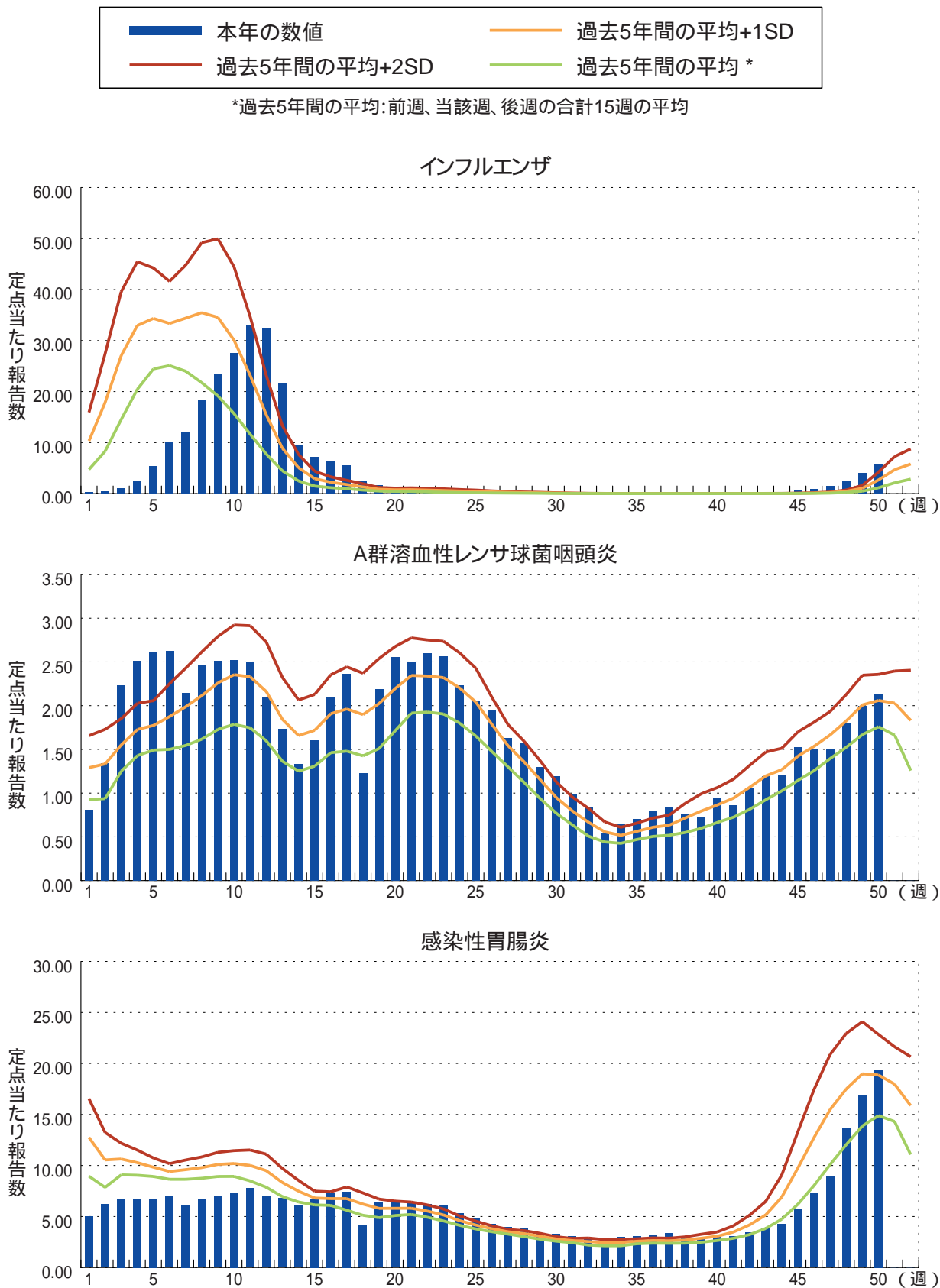
当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )との差をグラフ上に表現した。

**インフルエンザ** : 定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してかなり多い。都道府県別では北海道( 18.8 )、青森県( 18.6 )、和歌山県( 15.9 )、岡山県( 13.4 )、山梨県( 11.2 )、兵庫県( 11.1 )、埼玉県( 9.6 )、千葉県( 8.9 )、神奈川県( 8.8 )が多い。

**小児科定点報告疾患** : RSウイルス感染症は3,368例の報告があり、報告数は第42週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第44週以降増加が続いている。都道府県別では青森県( 1.37 )、佐賀県( 1.04 )、石川県( 0.69 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第47週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では山口県( 5.2 )、山形県( 4.2 )、富山県( 4.1 )、石川県( 4.1 )が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県( 41.9 )、長崎県( 31.0 )、鹿児島県( 29.5 )、熊本県( 28.7 )、佐賀県( 27.0 )、福岡県( 27.0 )が多い。水痘の定点当たり報告数は第41週以降増加が続いている。都道府県別では新潟県( 4.7 )、石川県( 4.1 )、福島県( 4.0 )、山口県( 3.5 )が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では沖縄県( 1.74 )、大分県( 1.58 )、鳥取県( 1.32 )が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では新潟県( 1.18 )、秋田県( 0.63 )、山形県( 0.63 )が多い。百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では岐阜県( 0.12 )、栃木県( 0.11 )、群馬県( 0.07 )が多い。風しんの報告数は横ばいであり、4県から6例の報告があった。都道府県別では神奈川県3例、茨城県、愛知県、高知県から各1例の順であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では岩手県( 0.28 )、徳島県( 0.20 )が多い。麻疹の報告数は増加し、8道府県から33例の報告があった。都道府県別では神奈川県11例、北海道、福岡県各7例、青森県3例、千葉県2例、埼玉県、大阪府、大分県から各1例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では秋田県( 1.69 )、新潟県( 1.00 )、高知県( 0.97 )、宮城県( 0.94 )が多い。

**基幹定点報告疾患** : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では群馬県( 2.88 )、沖縄県( 2.86 )、青森県( 1.83 )が多い。成人麻疹の報告数は2週連続で増加し、3都県から6例の報告があった。都道府県別では大分県3例、東京都2例、青森県1例の順であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2007年第1 ~ 50週 )  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



## 11月コメント

### 性感染症について( 12月11日集計分 ) 性感染症定点数 : 967

( 産婦人科・産科・婦人科 : 466、泌尿器科:397、皮膚科90、性病科14 )

#### 月別推移

2007年11月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.41( 男1.04、女1.37 )、性器ヘルペスウイルス感染症が0.68( 男0.25、女0.42 )、尖圭コンジローマが0.48( 男0.26、女0.22 )、淋菌感染症が0.89( 男0.70、女0.19 )であった。男性では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が多く、女性では性器クラミジア感染症、次いで性器ヘルペスウイルス感染症が多かった( 図1 )。

前月に比べると、4疾患すべてで男女ともに減少した( 29 ~ 32ページ「グラフ総覧」参照 )。男女別に過去5年間の同時期と比較すると、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症は男女ともにやや少なく、性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともかなり少なかった( 図2 )。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合( 11月 )

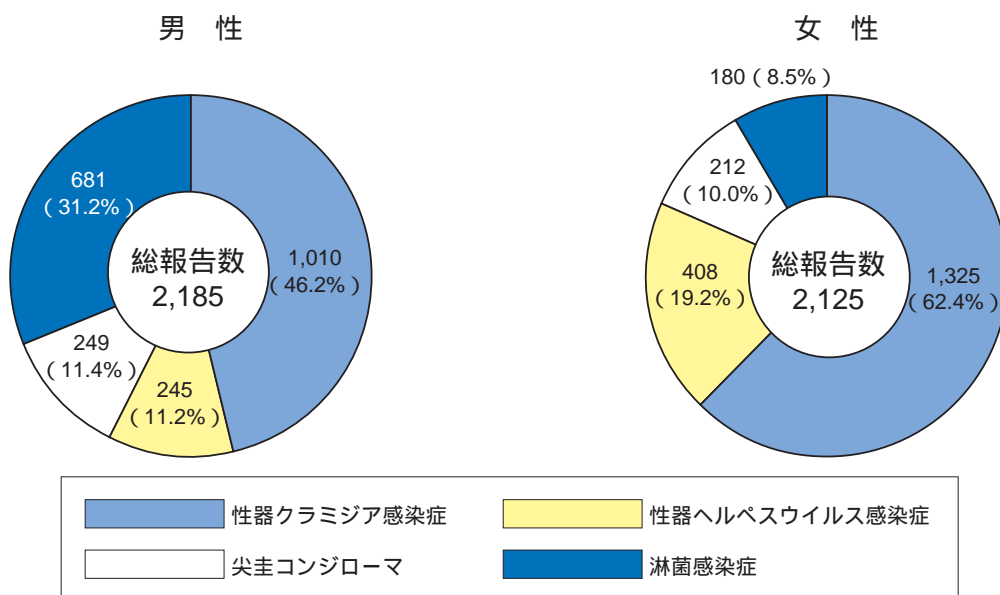
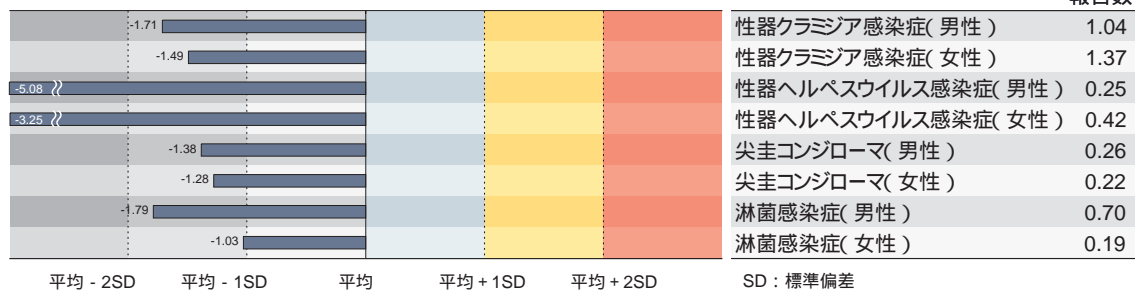


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較( 11月 ) 定点当たり報告数



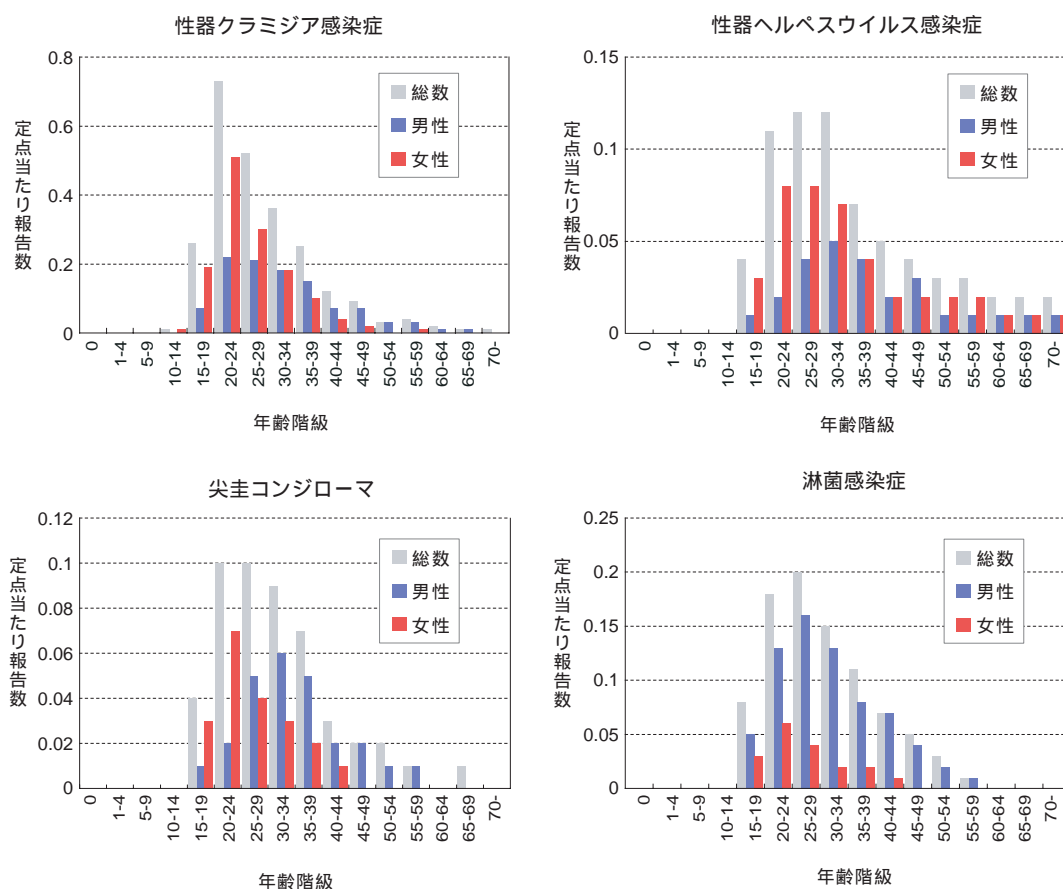
当該月と過去5年間の平均( 過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均 )との差をグラフ上に表現した。

男女別・年齢階級別

年齢群( 0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上 )でみた定点当たり報告数のピークは、男性では性器クラミジア感染症では20～24歳、性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマでは30～34歳、淋菌感染症では25～29歳であるのに対し、女性では性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では20～24歳、性器ヘルペスウイルス感染症では20～24歳および25～29歳であり、女性の罹患年齢が男性に比べてやや若い傾向が認められた( 図3 )。また、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の3疾患は、男性では60代以降、女性では50代以降の報告はないか、あっても僅かである。しかし、性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともに、50代以降の報告も少なくない。この年齢層は再発例が含まれている可能性が以前から指摘されており、2006年4月の届出基準改正により、抗体のみ陽性のものの除外に加えて「明らかな再発例は除外する」ことが明示された。しかし、報告数や年齢階級別分布において明らかな変化は見られておらず、この基準変更の周知徹底が必要と考える。

年齢群毎にみた定点当たり報告数の男女の比較では、淋菌感染症では全ての年齢群で男性が女性より多いが、性器クラミジア感染症では10～29歳の4つの年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症では15～34歳、50～59歳の6つの年齢群、尖圭コンジローマでは15～24歳の2つの年齢群で、女性が男性より多かった。ただし、性感染症定点は泌尿器科系、婦人科系および皮膚科系などの診療科から構成されており、男女の比較についてはそれらの比率の影響を受ける可能性がある。

図3. 性感染症の性別・年齢階級別分布( 11月 )

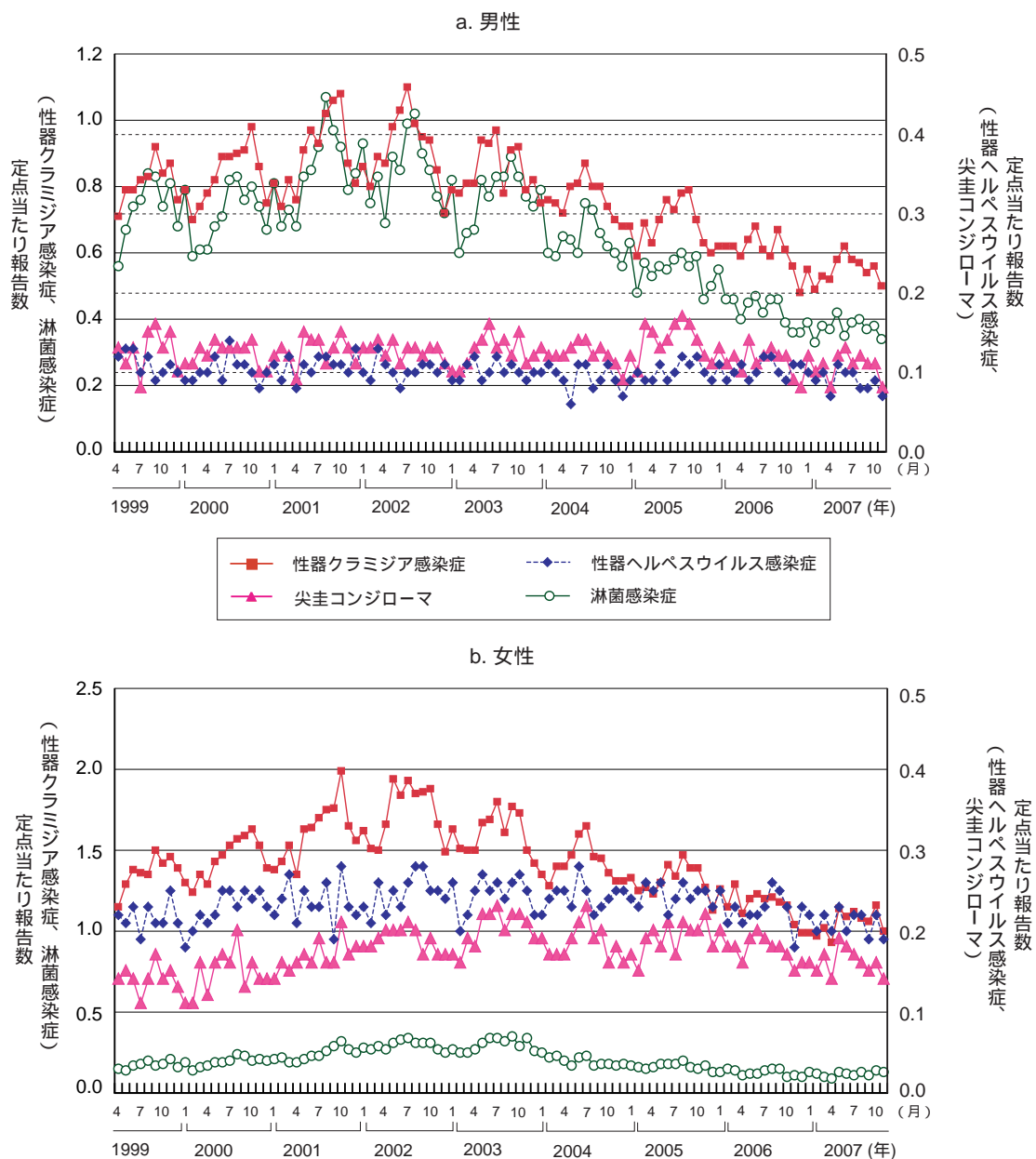


若年齢層での推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層( 15 ~ 29歳 )における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。性器クラミジア感染症と淋菌感染症は男女ともに2003年以降減少傾向がみられる。性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマは男性では横ばいであり、女性では2005年半ば頃から微かながら減少傾向がみられる。

前月との比較では、男女ともに4疾患すべてで減少した。

図4. 若年齢層における性感染症の年別・月別推移  
( 15 ~ 29歳、1999年4月 ~ 2007年11月 )



## 薬剤耐性菌感染症について( 12月11日集計分 ) 基幹定点数( 11月 ): 468

### 定点当たり報告数

#### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌( MRSA )感染症

4.45( 前月: 4.68、前年同月: 3.98 )

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。11月は前月より減少したが、過去8年間の同月との比較では最も高かった。

#### ペニシリン耐性肺炎球菌( PRSP )感染症

0.98( 前月: 0.82、前年同月: 0.88 )

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて( 4~6月)と冬( 11、12月)に多く、夏( 7~9月)に少なく推移している。11月は例年同様前月よりさらに増加し、過去8年間の同月との比較では中位に属した。

#### 薬剤耐性緑膿菌感染症

0.09( 前月: 0.14、前年同月: 0.11 )

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比して多い傾向がある。11月は前月より減少し、過去8年間の同月との比較では最も低かった。

### 年齢階級別

MRSA感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の66%を占めている( 図1 )。

PRSP感染症...小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の68%を占める一方、70歳以上が全体の16%を占めている( 図2 )。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、70歳以上が全体の64%を占めている( 図3 )。

### 性別( 女性を1として算出した男女比 )

MRSA感染症...男: 女 = 1.8 : 1

PRSP感染症...男: 女 = 1.6 : 1

薬剤耐性緑膿菌感染症...男: 女 = 2.0 : 1

### 都道府県別

MRSA感染症...定点当たり報告数は栃木県( 8.9 )、福島県( 8.3 )、沖縄県( 7.7 )が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県( 6.8 )、東京都( 2.9 )、大分県( 2.8 )が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...報告総数が42件にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

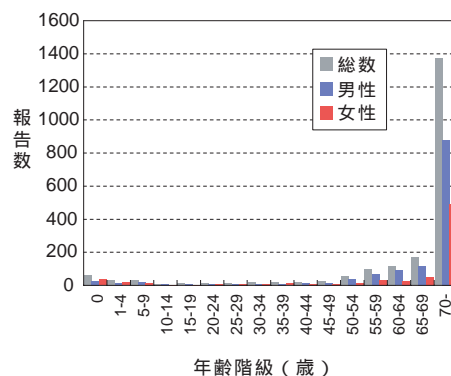


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

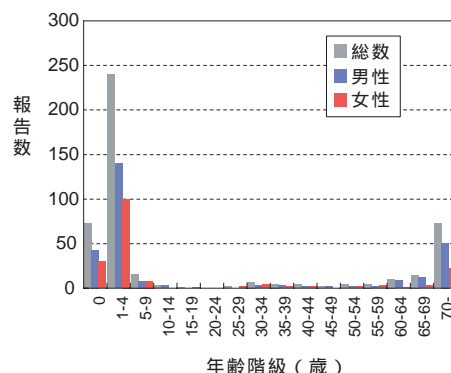
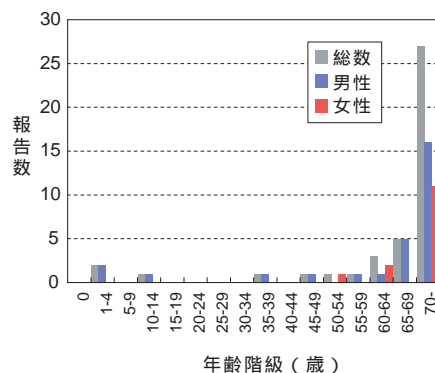


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症







# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

わが国においてインフルエンザ( Influenza )は、例年冬季を中心に全国的な流行が開始し、多くのシーズンにおいて年間1,000万人以上の発病者がみられている。

臨床症状としては、インフルエンザウイルスの感染を受けてから1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱( 通常38 以上の高熱 ) 頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強い。とくに、高齢者や慢性疾患を持つ患者では、入院や死亡の危険が増加する。小児では中耳炎や急性脳症の合併が知られ、熱性痙攣や気管支喘息を誘発することもある。

感染症発生動向調査によると、インフルエンザの定点当たり報告数は2007年第42週以降増加が続いており、第50週は5.7( 報告数26,983 )であった( 図1 )。都道府県別では、北海道( 18.8 )、青森県( 18.6 )、和歌山県( 15.9 )、岡山県( 13.4 )、山梨県( 11.2 )、兵庫県( 11.1 )、埼玉県( 9.6 )、千葉県( 8.9 )、神奈川県( 8.8 )、静岡県( 7.9 )の順となっている。これまで患者報告数が急増していた北海道は、今週は前週よりも微減したものの、青森県ではこの4週間で報告数が急増し、その他全国の多くの地域においても報告数の増加がみられている( 図2 )。シーズン開始の第36週から第50週までの定点当たり累積報告数は15.1( 累積報告数74,102 )であり、年齢別では5～9歳45.6%、0～4歳21.2%、10～14歳14.6%、30～39歳6.7%の順となっている。5～9歳からの報告数割合が例年と比較しても高い状態が続いており、15歳未満の小児を中心とした流行が継続している( 図3 )。第36週以降のインフルエンザウイルスの分離報告数は31都道府県から474件であり、うちAH1亜型415件( 87.6% )、AH3亜型51件( 10.8% )、B型8件( 1.7% )となっており、現時点での国内におけるインフルエンザ流行の原因ウイルスの大半はAH1亜型であると思われる( 図4、図5 )。

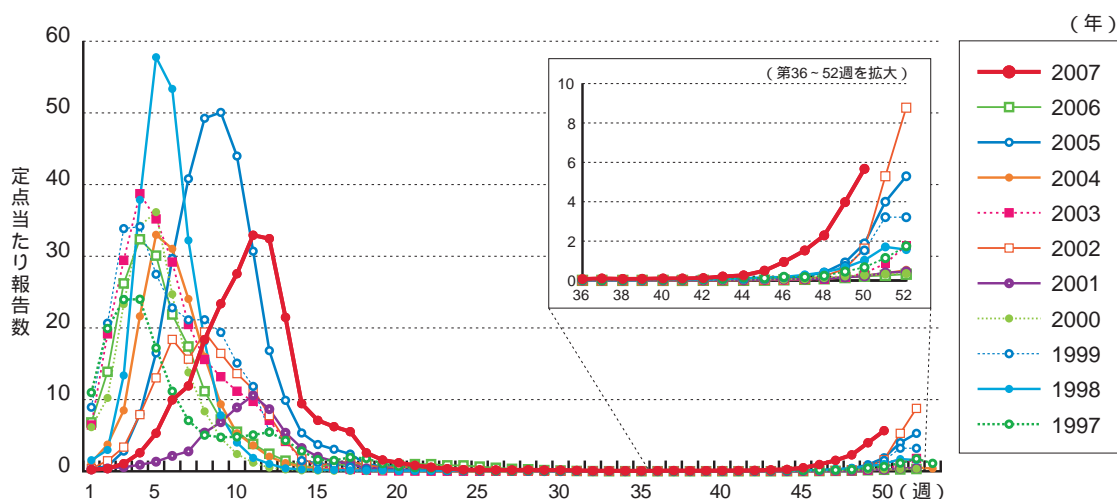


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況( 1997年～2007年第50週 )

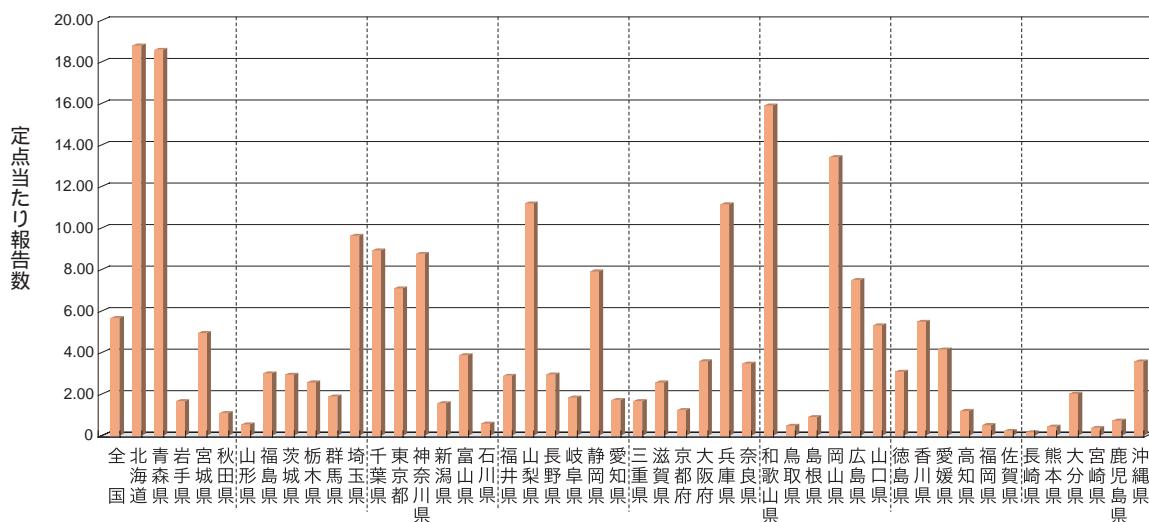


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況( 2007年第50週 )

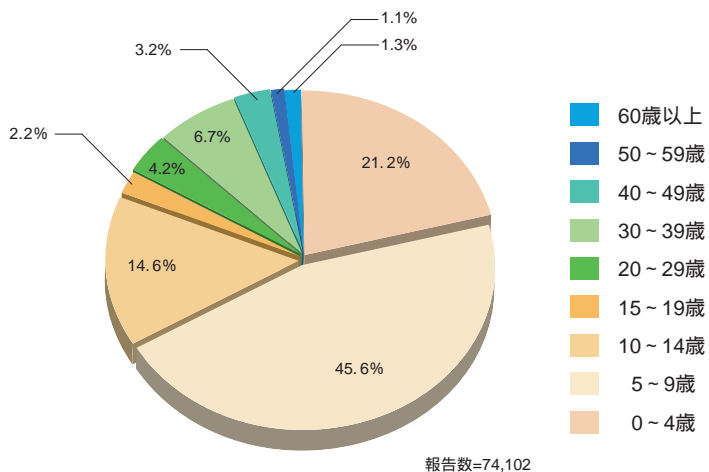


図3. 2007/08シーズンのインフルエンザ累積報告数の年齢群別割合( 2007年第36 ~ 50週 )

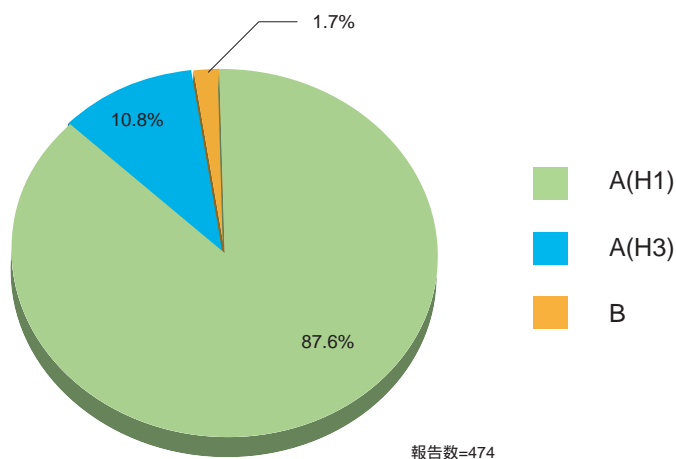


図4. インフルエンザウイルス型別分離・検出報告割合 (2007年第36～50週)  
(病原微生物検出情報: 2007年12月20日現在報告数)

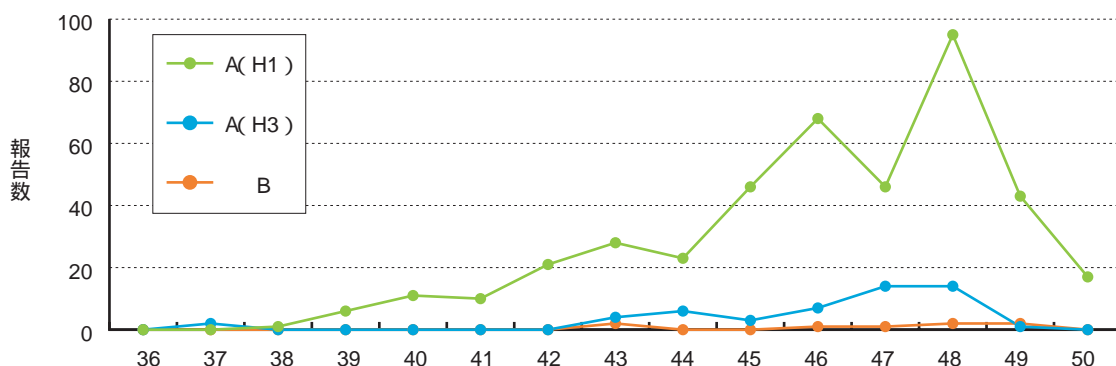


図5. インフルエンザウイルス分離・検出報告数の週別推移 (2007年第36～50週)  
(病原微生物検出情報: 2007年12月20日現在報告数)

インフルエンザの定点当たり報告数の全国平均値は、第47週に流行開始の指標である定点当たり報告数1.0を上回ったが、その後も増加の勢いはさらに大きくなってきている。例年、学校等の冬期休暇が全国的に始まるまでは、インフルエンザの患者発生報告数の増加や流行地域が拡大し、冬期休暇の時期に一旦患者発生が鈍化、その後再び増加するという傾向が見られている。今後、より年長者における患者発生が増えてくるものと予想され、地域のインフルエンザ流行情報への注意が必要である。流行時には、外出時のマスク利用や帰宅時のうがい、手洗などが、かぜの予防と併せて奨められる。インフルエンザが疑われる症状を呈した者については、速やかに医療機関を受診して医師の診断と適切な加療を受けることと、周囲への感染拡大を防止するため、マスク着用などの咳エチケットを始めとした予防措置を取ることが重要である。

## 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様の病原によるものを包含する症候群名であるが、全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測されている( IASR, Vol 24. No 12. p321-322参照 )。また、患者発生のピークは例年12月の中旬以降となることが多く( 図1 )、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると推測される( 感染症情報センターホームページ <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-kj.html> )。

ノロウイルスの感染経路については、経口感染が以前から知られていたが、同ウイルスはヒトの体内においてのみ増殖するウイルスであり、ヒトからヒトへ直接伝播する感染経路による感染が、ノロウイルス感染症の流行拡大の大きな要因であると思われる。ヒト - ヒト間の感染経路としては、便や嘔吐物の付着した手や物品を介する接触感染や、嘔吐物や下痢便の飛沫をあびるまたは吸い込むことによる飛沫感染があり、更には嘔吐物や下痢便の存在した場所または物品に対して適切な消毒が行われなかったことによって、乾燥後にウイルスが埃と共に舞い上がって集団感染を引き起こしたいわゆる塵埃感染もこれまでに報告されている。ノロウイルス感染症の接触感染を予防する最も重要な方法は「流水・石けんによる手洗い」であり、流行時期には外出から帰った後、調理や喫食の前後等に十分な手洗いを行う必要がある。また、ノロウイルス感染症の場合、嘔吐物や下痢便には、大量のノロウイルスが含まれており、わずかな量のウイルスが体内に入っただけで容易に感染するため、嘔吐物・下痢便の処理の際にはマスク・手袋を着用し、うすめた塩素系消毒剤や家庭用漂白剤( 濃度は200ppm以上 ; <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/index.html> )でふき取りを行うことが重要である。

感染症発生動向調査によると、感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してやや多い。2007年第50週の定点当たり報告数は19.3( 報告数58,352 )であり、前週の報告数( 定点当たり報告数16.9、報告数51,000 )を大きく上回った( 図1 )。都道府県別では大分県( 41.9 )、長崎県( 31.0 )、鹿児島県( 29.5 )、熊本県( 28.7 )、佐賀県( 27.0 )、福岡県( 27.0 )、富山県( 26.3 )、福井県( 26.0 )の順であり、九州地域の各県の報告数の増加が目立っている( 図2 )。発生報告数を年齢別にみると、0 ~ 1歳20.9%、2 ~ 3歳18.9%、4 ~ 5歳17.2%の順であり、5歳以下で全報告数の60%前後を、7歳以下で70%前後を占めている( 図3 )のは例年と同様である。

2007年の感染性胃腸炎の患者報告数は昨年の流行レベルには及ばないものの、12月に入っても増加が続いており、第50週では既に2005年以前の報告数のレベルを超えている。現在、感染性胃腸炎の流行は、ピークを迎えつつある可能性が高いが、その発生動向には今後とも十分な注意が必要である。

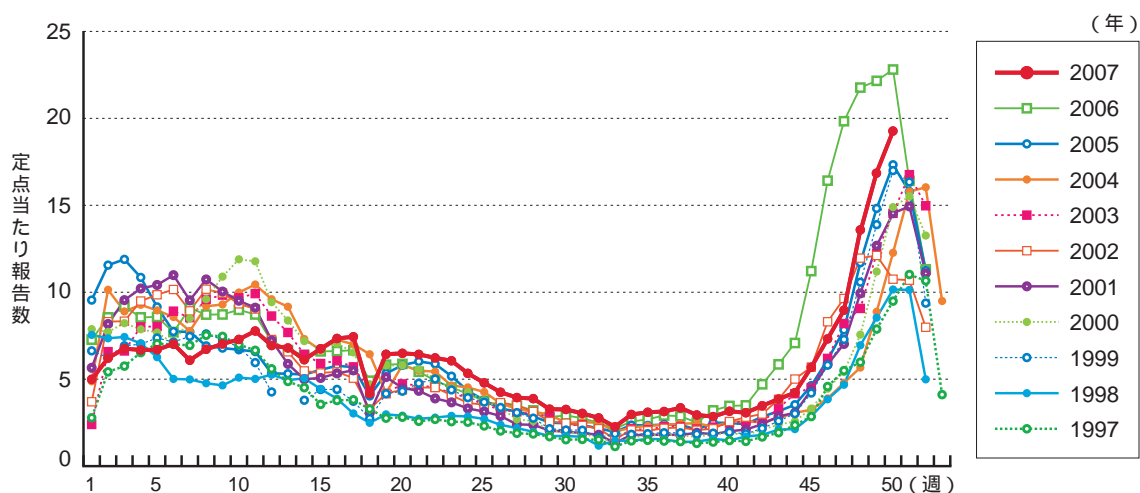


図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況( 1997年 ~ 2007年第50週 )

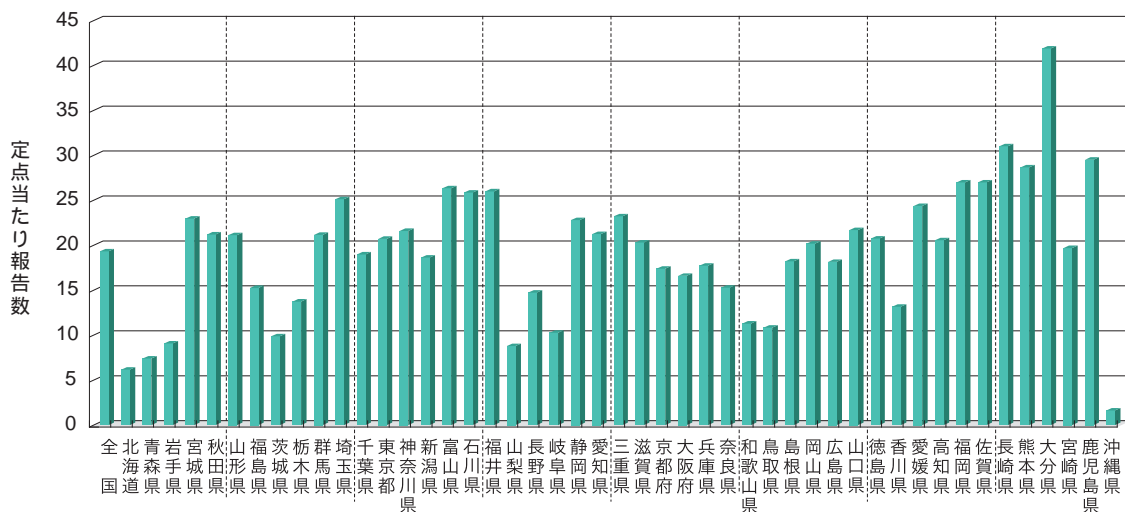


図2. 感染性胃腸炎の都道府県別報告状況( 2007年第50週 )

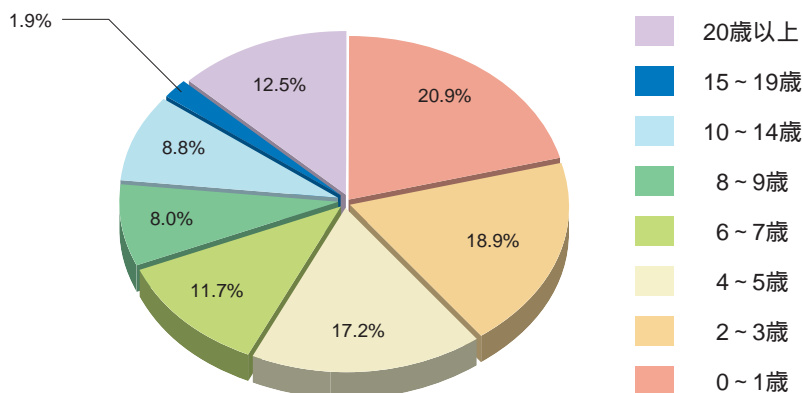


図3. 感染性胃腸炎の年齢群別割合( 2007年第50週 )



# 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

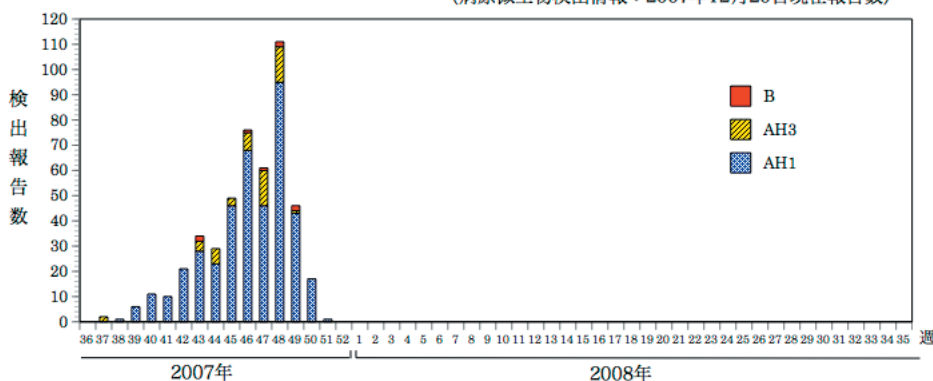
( 2007年12月20日現在報告分 )

## インフルエンザウイルス 2007/08シーズン

2007/08シーズンに入りAH1亜型の分離・検出が増加しており、第38～51週までに31都道府県から416件が報告されている( 分離が388件、PCRのみでの検出が28件 )。第47～50週の4週間では、北海道44件、静岡県27件、神奈川県17件、大阪府15件、山口県14件、長野県12件、山梨県、兵庫県、和歌山県、高知県各8件、千葉県7件など26都道府県から計201件が報告されている。AH3亜型は第37週に愛知県2件、第43～44週に熊本県5件、埼玉県4件、千葉県1件、第45～48週に富山県38件、第49週に大阪府で1件、計51件の分離が報告されている。B型は第43週に栃木県2件、第46週に京都府1件、第49週に長野県、静岡県各1件、計5件の山形系統株の分離が、第47週に広島県1件、第48週に愛知県2件、計3件のビクトリア系統株の分離が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報：2007年12月20日現在報告数)



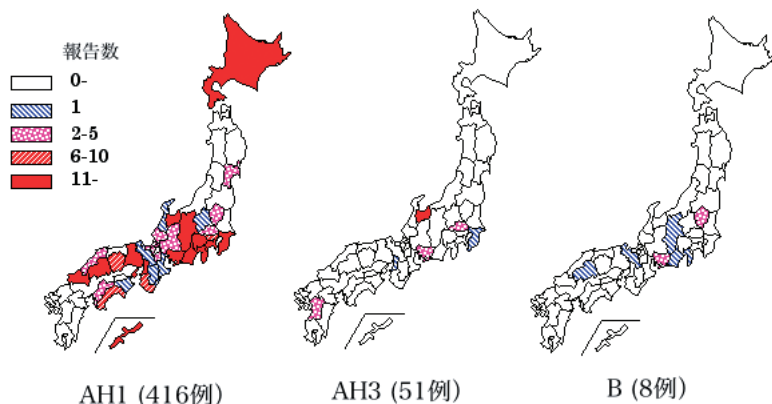
\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報：2007年12月20日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

### 感染性胃腸炎関連ウイルス 2007/08シーズン

2007/08シーズンに入りノロウイルスgenogroup IIとサポウイルスの検出が増加している。第36～50週までにノロウイルスgenogroup I 5件、ノロウイルスgenogroup II 388件、サポウイルス106件の検出が報告されている。

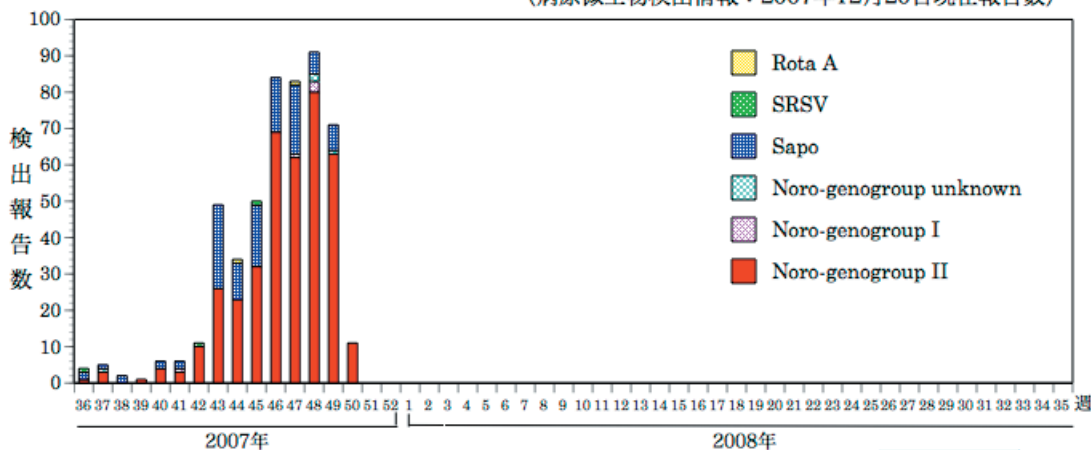
ノロウイルスgenogroup IIの検出は大阪府65件、滋賀県50件、熊本県49件、神奈川県27件、福岡県26件、山梨県21件、鳥取県20件、鹿児島県18件、新潟県14件、宮城県、千葉県各11件など27道府県から報告され、サポウイルスは熊本県46件、愛媛県28件、高知県19件、三重県8件、福岡県3件、青森県、神奈川県各1件、ノロウイルスgenogroup Iは大阪府2件、神奈川県、京都府、高知県各1件の検出が報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる老人施設、病院、福祉施設、保育所、小学校、宿舎、宴会場などでの人 人感染が疑われる胃腸炎集団発生42事例、食中毒および有症苦情が24事例、海外旅行での集団感染が1事例、その他・詳細不明8事例が報告されている( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html> )。遺伝子型別された24事例中18事例ではGII/4、5事例ではGII/3、1事例ではGII/6が検出されている。

この他、A群ロタウイルスの検出が第44週に熊本県で1件、第47週に高知県で1件報告されている。

#### 週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報：2007年12月20日現在報告数)

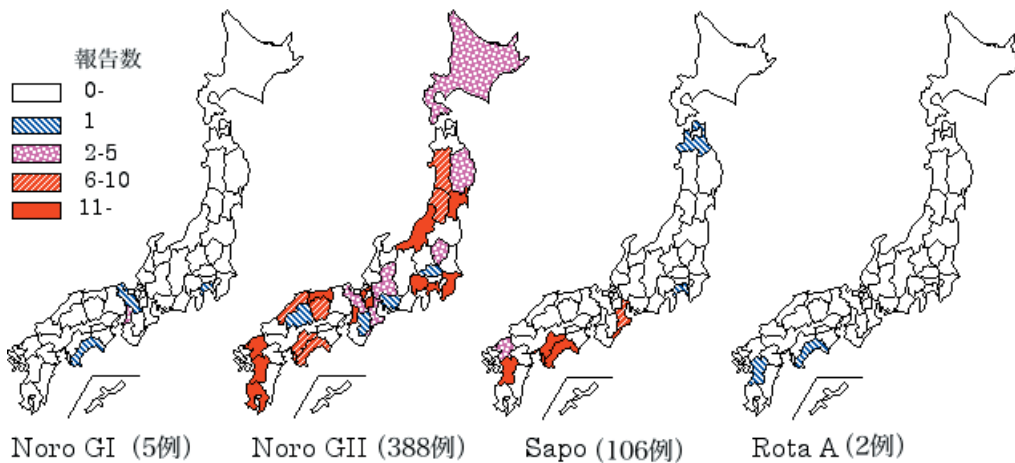


\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報：2007年12月20日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

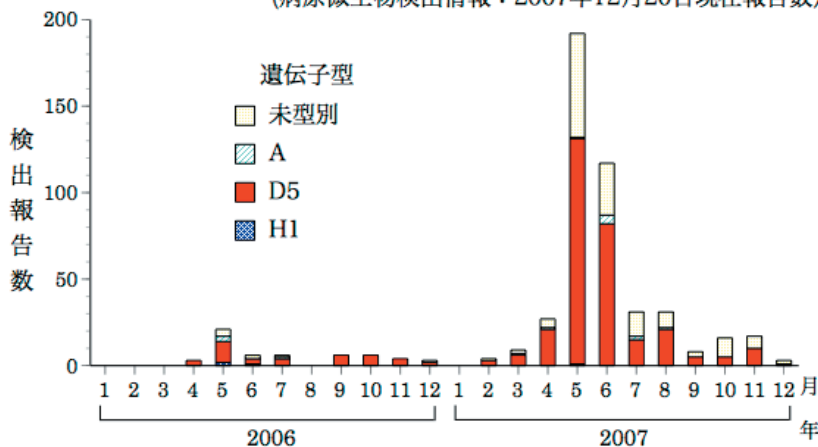
麻疹ウイルス 2007年

2007年2～12月に29都道府県から麻疹ウイルスの分離・検出が459件報告されている。遺伝子型別まで実施された314件中302件ではD5型が検出されており、他にはA型11件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)とH1型1件(中国から帰国して5日後に発症した患者から)が検出されている。

D5型は2006年4～7月に千葉県と茨城県、9～12月に沖縄県から報告されていた。2007年は5月をピークに25都道府県から報告されており、9月に3道府県から5件、10月に1県から5件、11月に3府県から10件、12月に1県から1件が報告されている。

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2007年12月

(病原微生物検出情報：2007年12月20日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

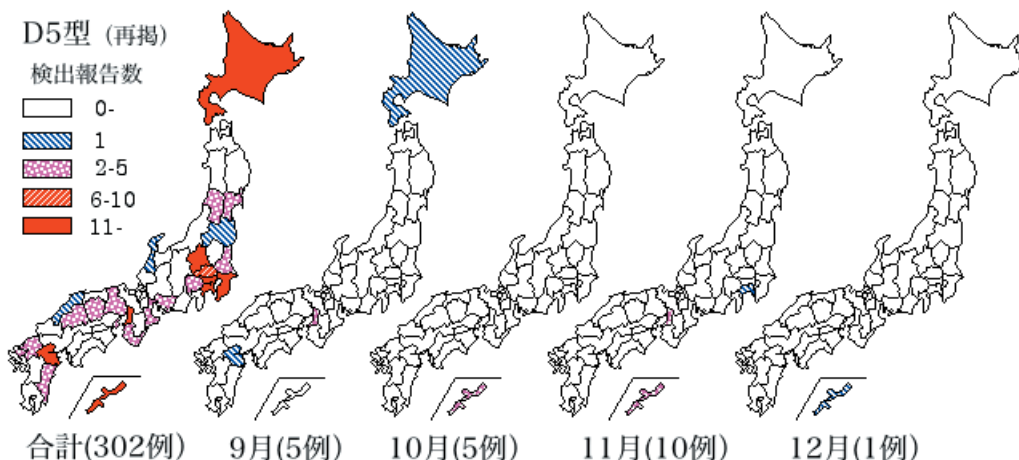
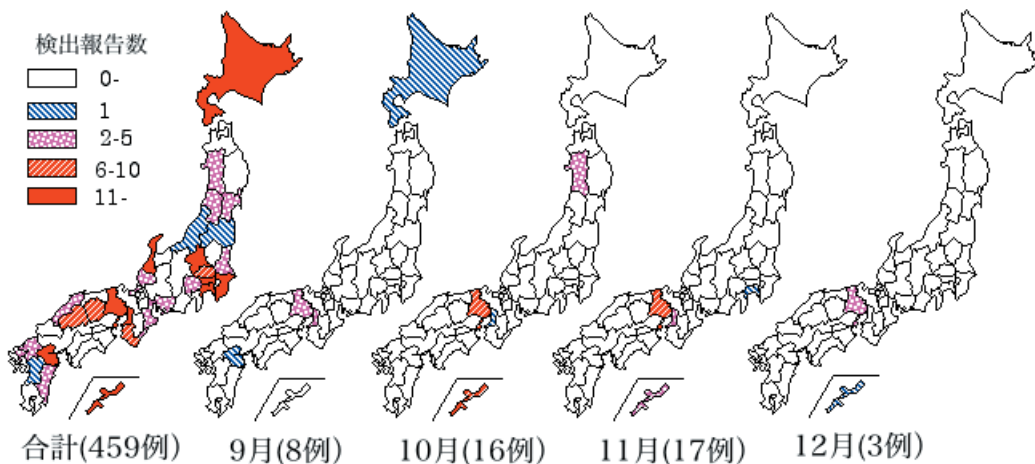


Infectious Agents Surveillance Report



月別都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2007年

(病原微生物検出情報：2007年12月20日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report



## 家庭用超音波式加湿器が感染源と考えられたレジオネラ症の1例 - 新潟市

### 1. はじめに

2007(平成19)年10月に市内医療機関から届出されたレジオネラ症について、患者から分離された菌と家庭用加湿器から分離された菌がパルスフィールド・ゲル電気泳動(PFGE)による検索の結果、同一遺伝子パターンを示し、加湿器が感染源と考えられた事例を経験したので報告する。

### 2. 症例

患者は60歳の男性。既往歴に特記事項なし。酒の卸し業の臨時従業員。喫煙歴：1日2～3箱×40年以上、飲酒歴：1日2～3合(連日)。発症2週間以内の旅行歴や、プール、公共入浴施設などの利用は無かった。

現病歴(発生届の受理日をA日として記載)：2007(平成19)年A-8日頃より37 台の発熱、咳嗽があり、呼吸苦を自覚していたが、市販薬内服で様子を見ていた。A-4日、高熱をきたし、近医を受診したところ、低酸素血症、胸部レントゲン写真で両肺野のスリガラス様陰影を指摘され、市内病院に救急車で搬送され入院した。

救急車中所見：血圧164/86 mmHg、酸素8 L/分投与下でSpO<sub>2</sub> 92%、体温40.4、脈拍129/分。

入院時血液検査所見：CRP 42.6 mg/dl、WBC 22,600/μl、RBC 492×10<sup>4</sup>/μl、Plt 14.2×10<sup>4</sup>/μl、GOT 47 IU/L、GPT 31 IU/L、LDH 449 IU/L、T-bil 1.39 mg/dl、BUN 15.3 mg/dl、Cre 1.0 mg/dl、BS 385 mg/dl、HbA1c 6.4%、KL-6 429 U/ml(基準値；500未満)。

入院後経過：入院日よりパズフロキサシン(静注用キノロン系抗菌薬)、シベレスタットナトリウム(好中球エラストラーゼ特異的阻害薬)などで治療が開始された。A-2日には挿管され、人工呼吸器管理となった。入院日に提出していたレジオネラ尿中抗原検査(EIA；酵素抗体法)は陽性の結果であり、A日に保健所へ発生届が提出された。胃管から、エリスロマイシン、リファンピシンの投与も開始されたが、血圧は徐々に低下し、A+1日に死亡した(死因：レジオネラ肺炎)。

### 3. 保健所の対応

発生届が提出された日に医療機関を訪問し、患者吸引痰を確保し、主治医と患者家族に聞き取り調査を行った。後日、患者宅浴場および患者が頻回に使用していた部屋で使用されていた加湿器のふきとり調査をおこなった。浴場からの検体ではレジオネラ属菌は検出されなかったが、患者吸引痰および加湿器からは分離培養検査でいずれも*Legionella pneumophila* SG1(血清型1群)が得られ、PFGE法で同一遺伝子パターンとの結果を得た。これにより本事例は加湿器が感染源である可能性が高いと判断し、保健所は市広報紙に加湿器の使用に際しての注意事項とレジオネラ属菌への注意喚起を掲載し、当該加湿器については新潟市消費者センターから、NITE(独立行政法人・製品評価技術基盤機構)へ事例報告を行い、調査等を依頼した。報道へは、発生届のあった週の週報にレジオネラ症発生(患者死亡)につき公表してあったが、後日PFGE検査結果入手後に加湿器が感染源として考えられる旨について公表した。これを受け、新聞に加湿器の使用に関する注意喚起を促す記事が掲載された。

#### 4. 考察

加湿器が原因と考えられるレジオネラ症の事例は、本邦では、2000(平成12)年1月に広島県の病院で2名の新生児のレジオネラ肺炎が起きた事例や、1996(平成8)年1月に東京都の病院で新生児3人が肺炎や気管支炎を起こし、新生児室の給湯設備の湯やミルクの加温器、加湿器からレジオネラ属菌が検出され、加湿器によって新生児室に菌が散布され集団感染となった可能性があると考えられている事例がある。

今回の症例は、加湿器から得られた菌と患者からの菌のPFGEでの遺伝子パターンが一致し、加湿器が感染源と推定された新潟市保健所で初めての事例である。

近年、気密性の高い住宅が増えており、室内の乾燥対策としての加湿器の使用や、また、インフルエンザなどの感染症予防策の一環としての加湿器の使用など、加湿器の需要は高まっているのではないと思われる。一方、どのようなタイプの加湿器がレジオネラ症の原因となるのかについて、どのように注意すればよいのかについても含め、厚生労働省のレジオネラ防止指針やいくつかの保健所のホームページなどで既に掲示されているものの、一般に商品を購入する際には、取り扱い説明書の他には製造業者や販売業者などからの説明はほとんど行われていないようであり、温泉や24時間風呂に比べ、一般住民には加湿器のリスクがあまり認知されていないように思われる。また、加湿器は一般家庭のみならず、抵抗力が比較的低い者が居住する施設等でも使用されている可能性が高い。このようなレジオネラ症の重症化因子を有する者が利用している施設等へも、情報提供が必要と考えられる。

#### 5. 最後に

患者の吸引痰から検出された菌と加湿器からの菌のPFGEでの遺伝子パターンが一致し、加湿器が感染源と推定されたレジオネラ肺炎の事例につき報告した。今回の事例を機に、加熱をしないタイプの超音波式加湿器ではレジオネラ症のリスクがあることを改めて認識し、加湿器の選択や、その使用にあたっての注意事項を一般住民や使用施設へ繰り返し啓発することが必要であると考えられた。

新潟市保健所

山崎 哲 松田哲明 山田耕嗣 石沢幸子 山田 豊 竹内 裕

新潟市衛生環境研究所

江口ヒサ子 棚橋定衛

( IASR 2008年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> ) をご覧下さい。

### インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年12月18日 - 更新27

インドネシア保健省は、以前診断が確認されていた鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型感染患者の死亡を報告した。Banten州Tangerang地区の47歳男性は、12月13日に死亡した。

インドネシアでは、これまでに感染が確認された115名のうち、93名が死亡している。

### スーダンでのリフトバレー熱流行状況

WHO/EPR 2007年12月20日 - 更新4

スーダンでは、リフトバレー熱患者の発生が続いている。2007年12月19日現在、死亡者211名を含むヒトでのリフトバレー熱患者601名がWhite Nile州、Sennar州、Gazeera州およびRiver Nile州で報告されている。それに加えて、Khartoum州で死亡者7名を含む患者31名が報告されているが、他の流行地域で感染したと考えられている。Gazeera州においてヒト患者の発生が最も多い状況が続いており、現在、患者406名と死亡者148名を計上している。

リフトバレー熱の流行において、ヒトでの感染の大部分は、感染した動物の血液や臓器に直接または間接的に接触して起こる。このウイルスは、屠殺または食肉処理、獣医による動物の出産の介助、獣医学的処置または死骸や胎児を処理する際の動物組織の取り扱い中にヒトに伝播する。ヒトへの感染は感染した蚊の刺咬からでも起きる。また、感染した動物の未殺菌乳、生乳または肉の摂取によってもリフトバレー熱に感染する可能性がある。

感染リスクがある地域の住民に感染のリスクを減らすために必要な対策を十分に認識させるために、テレビやラジオ放送を含む現地で利用可能なすべてのメディアや住民や宗教的指導者を利用して、継続した包括的で徹底的な社会動員活動を緊急に行う必要がある。



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

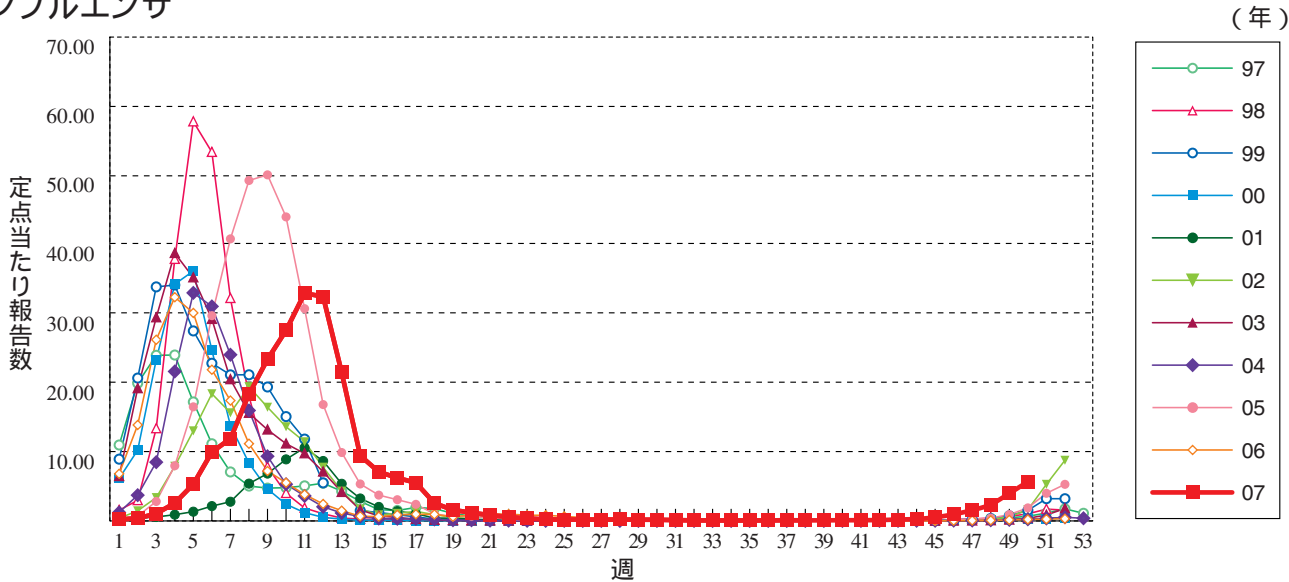
今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

\*\*\*\*\*

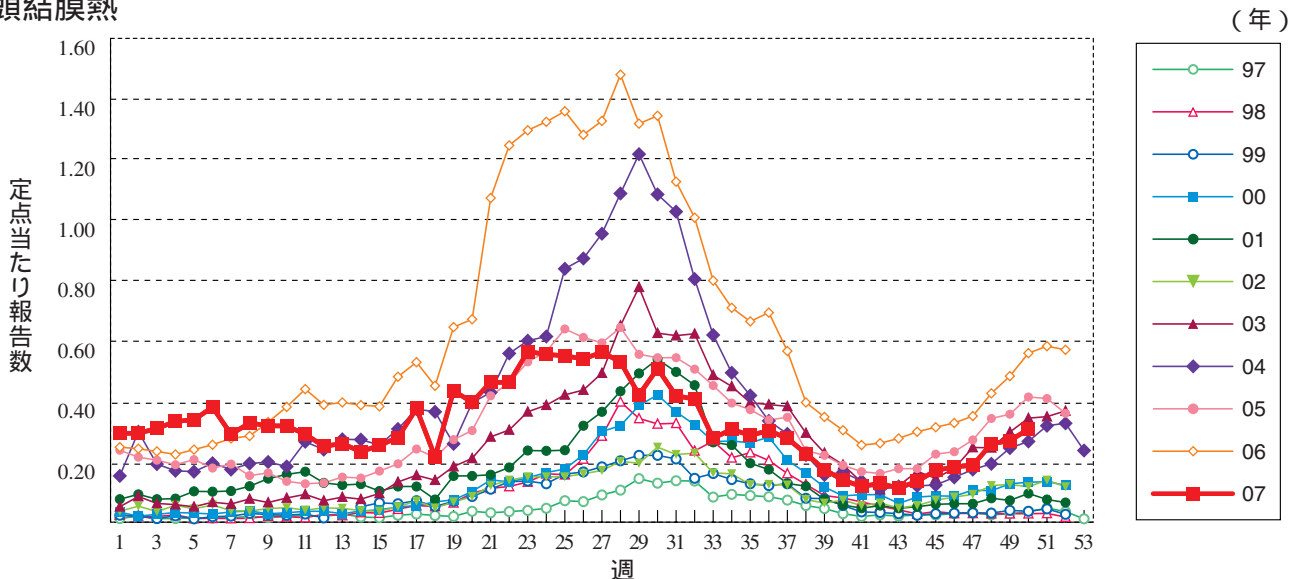


**グラフ総覧(50週)**

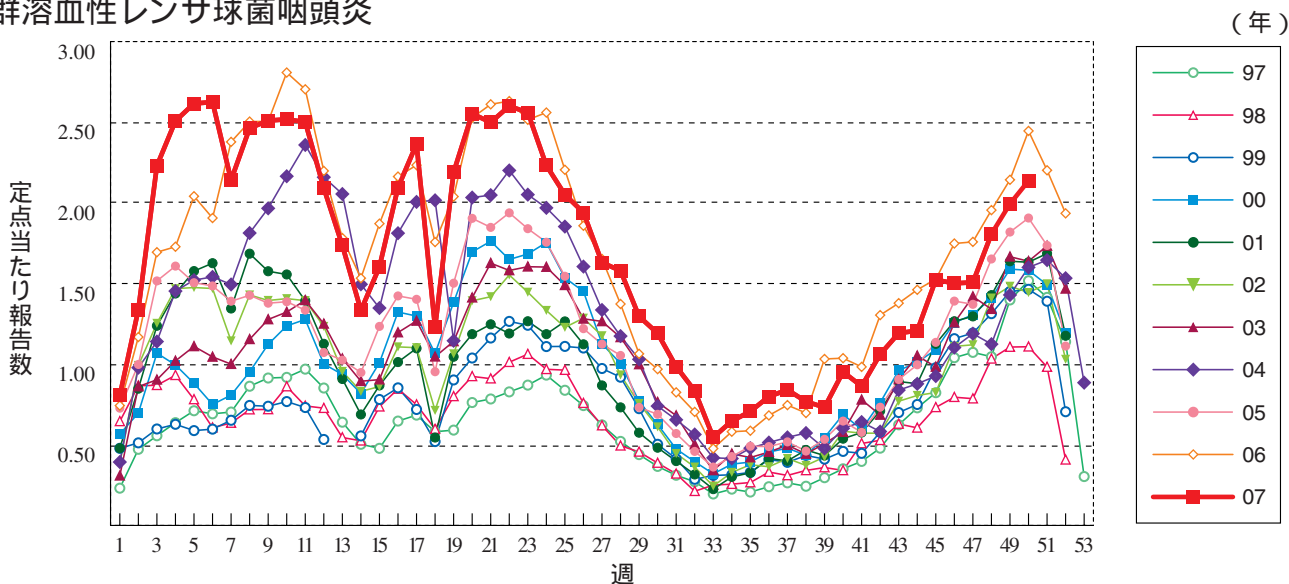
**インフルエンザ**



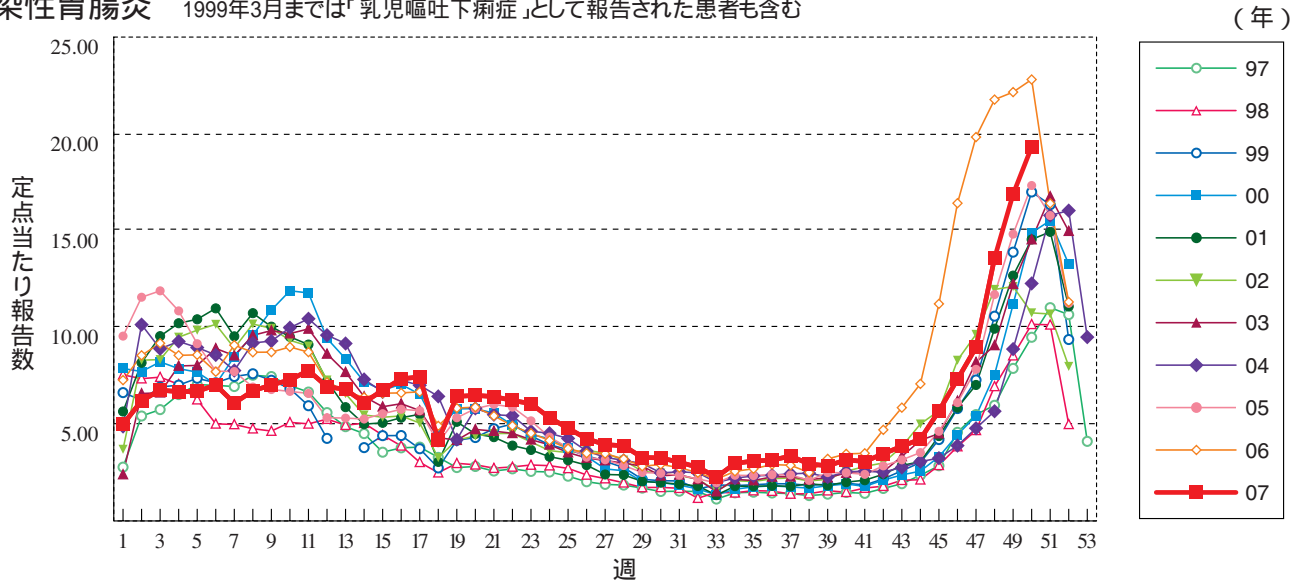
**咽頭結膜熱**



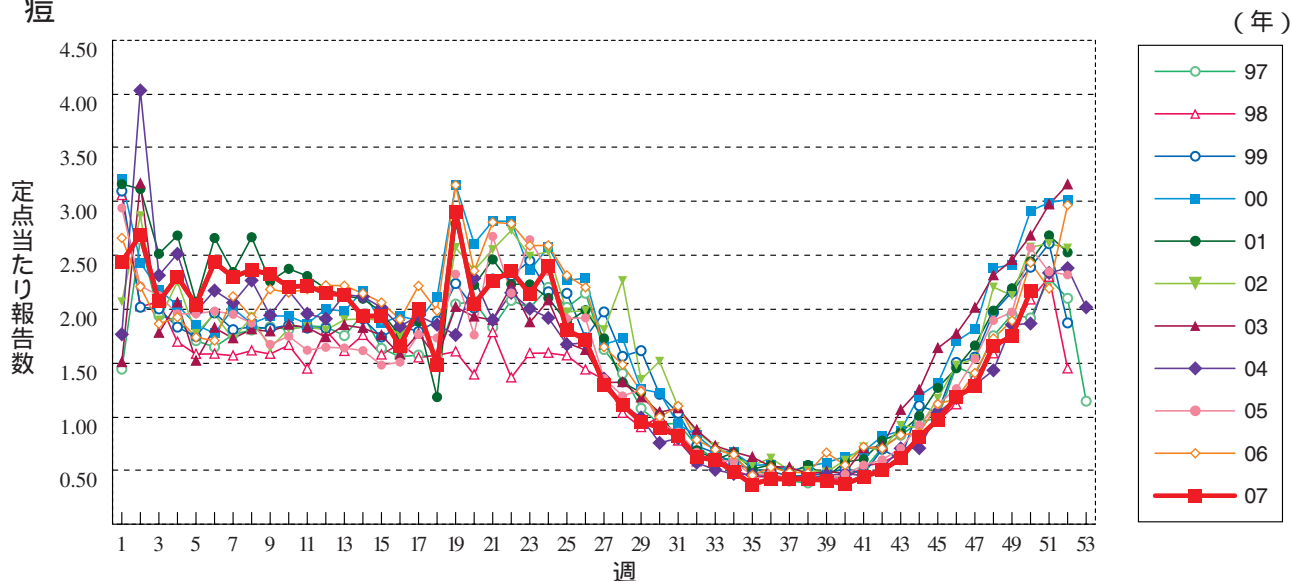
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



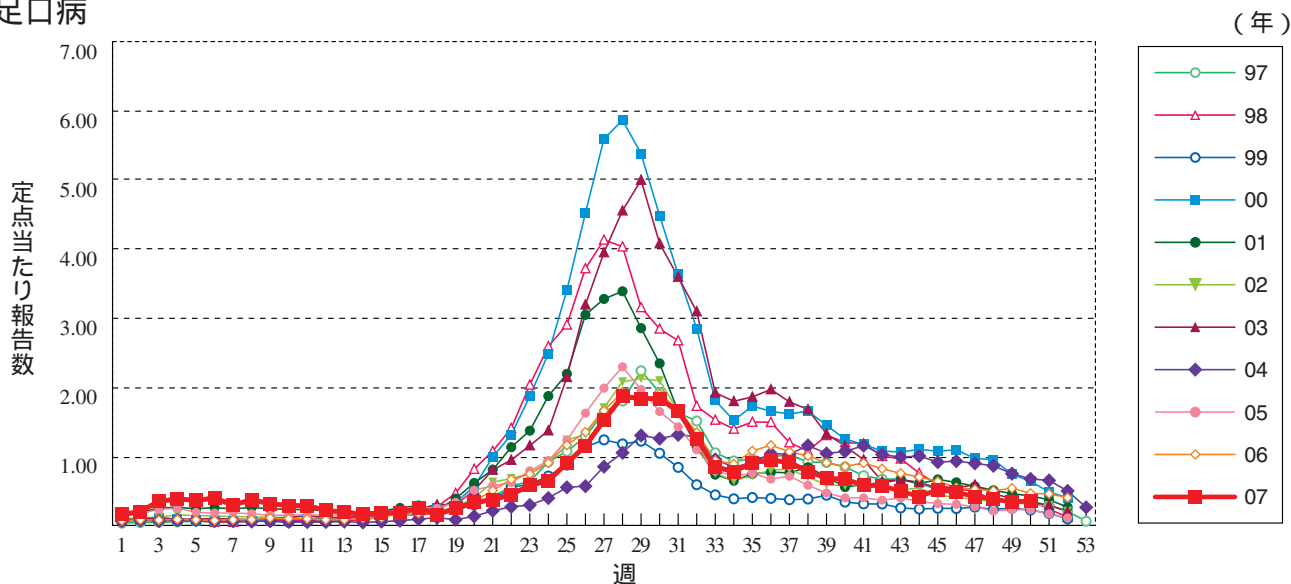
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



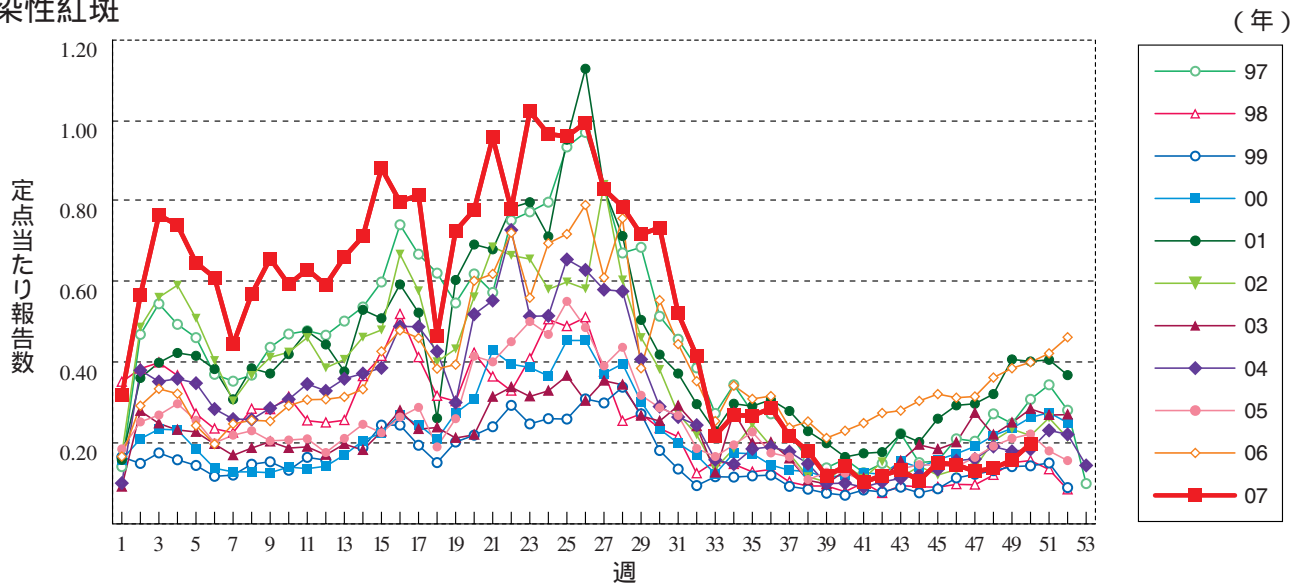
**水痘**



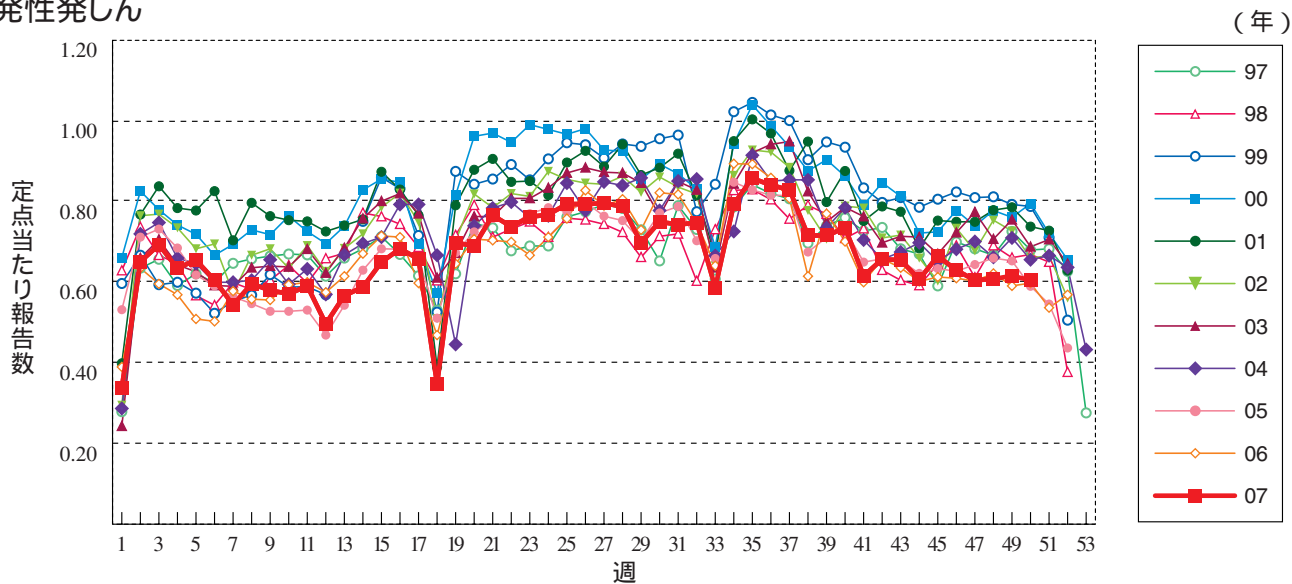
**手足口病**



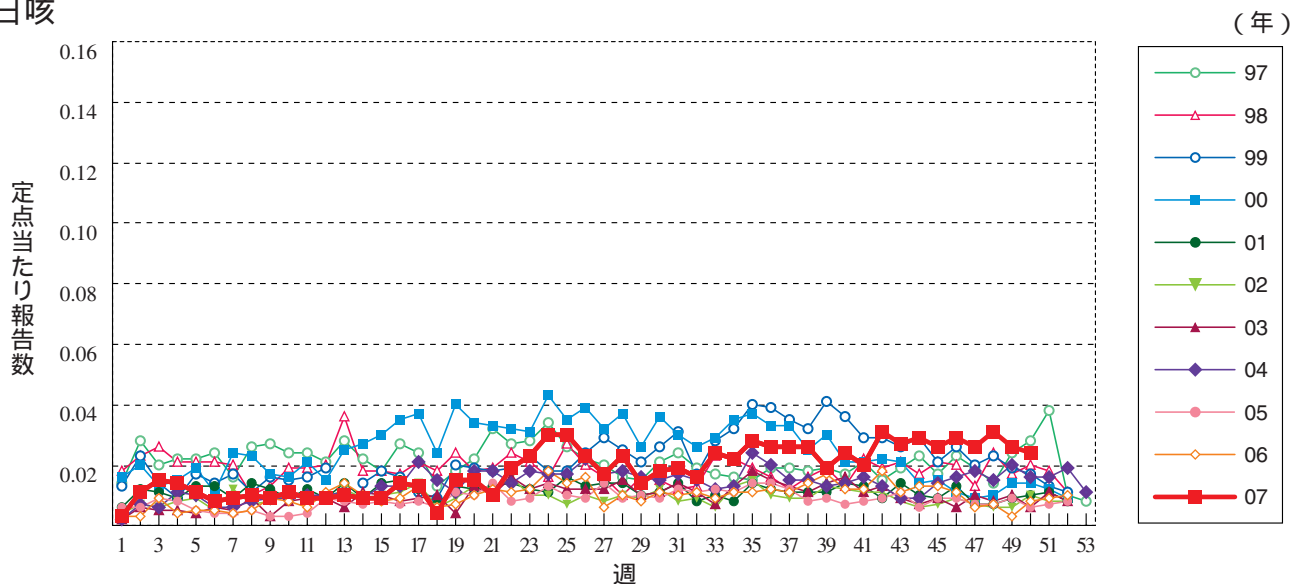
伝染性紅斑



突発性発しん

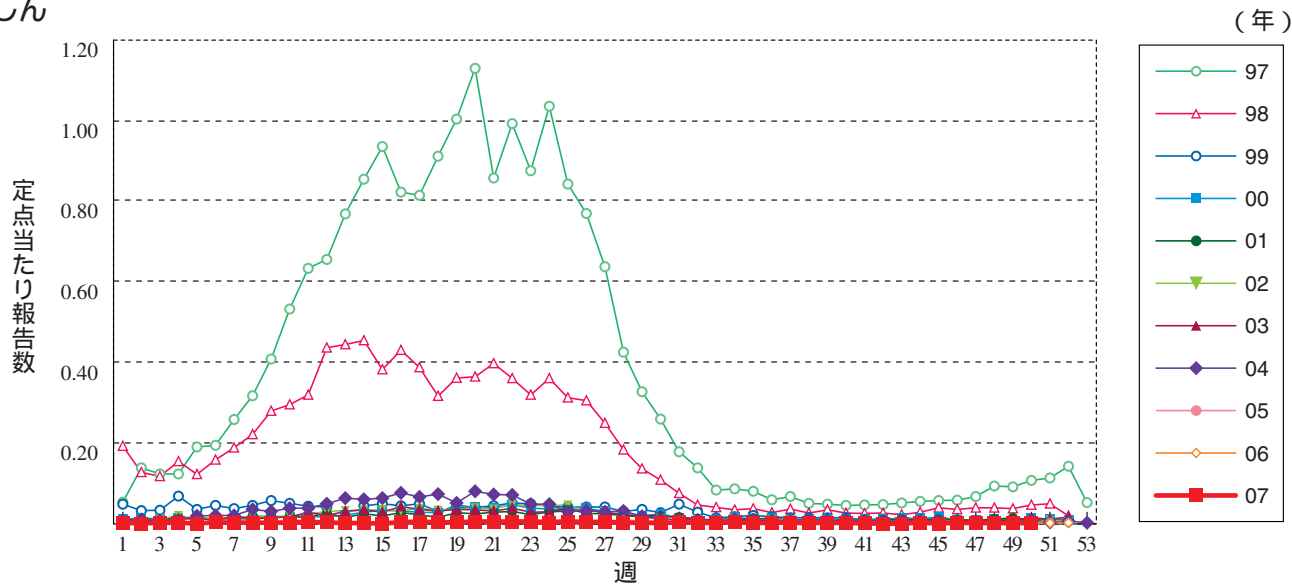


百日咳

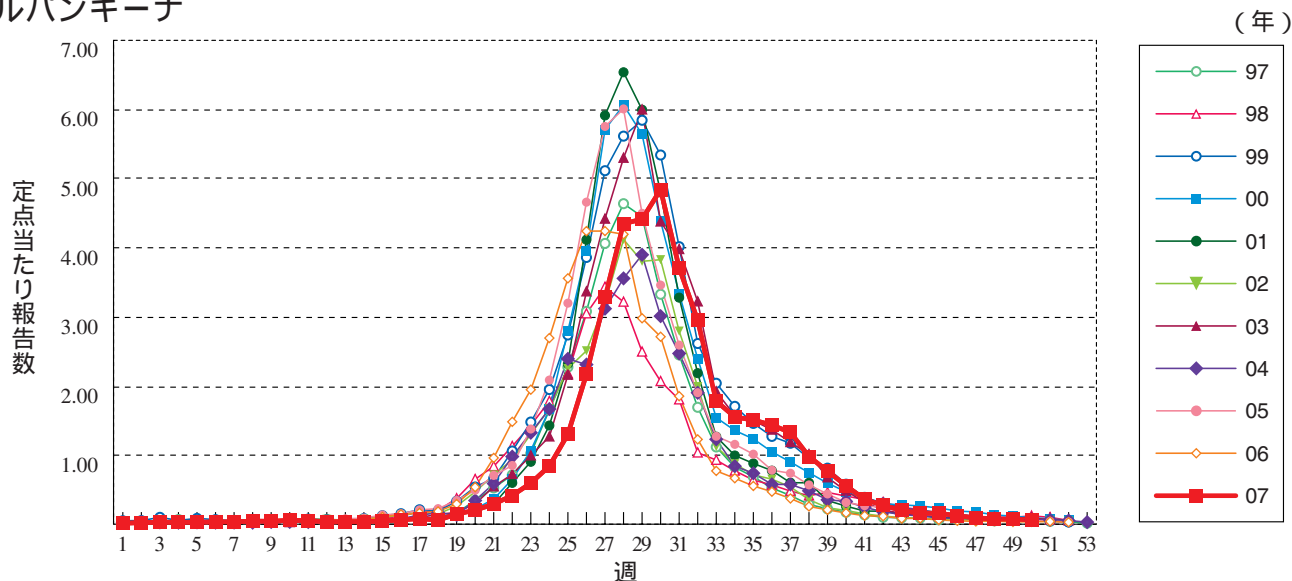




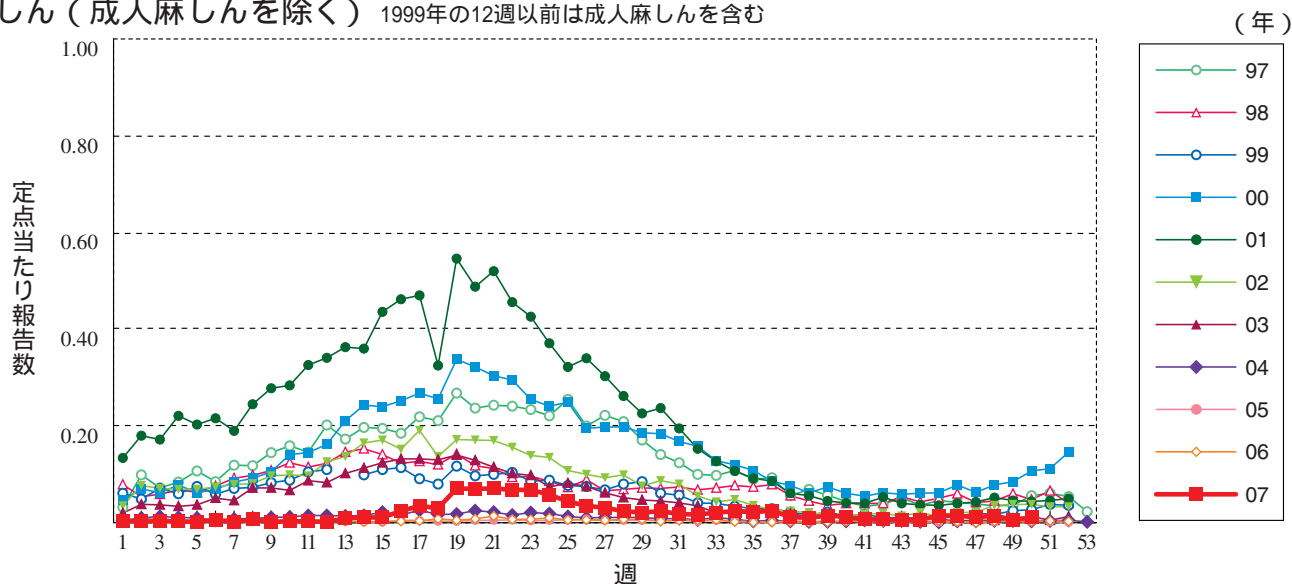
風しん



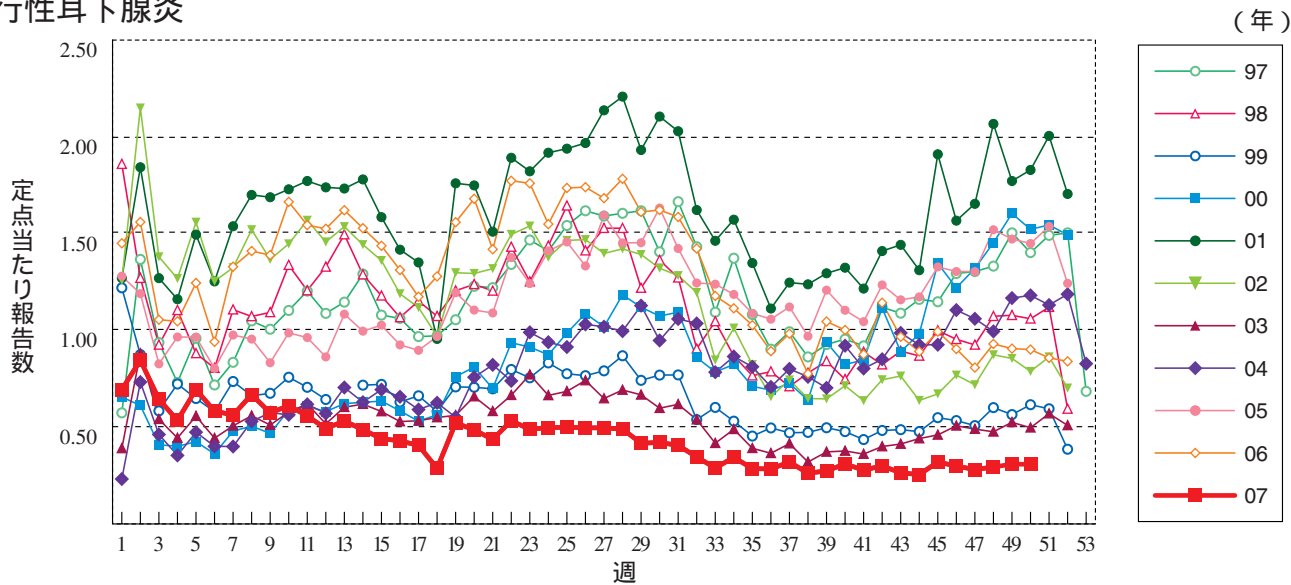
ヘルパンギーナ



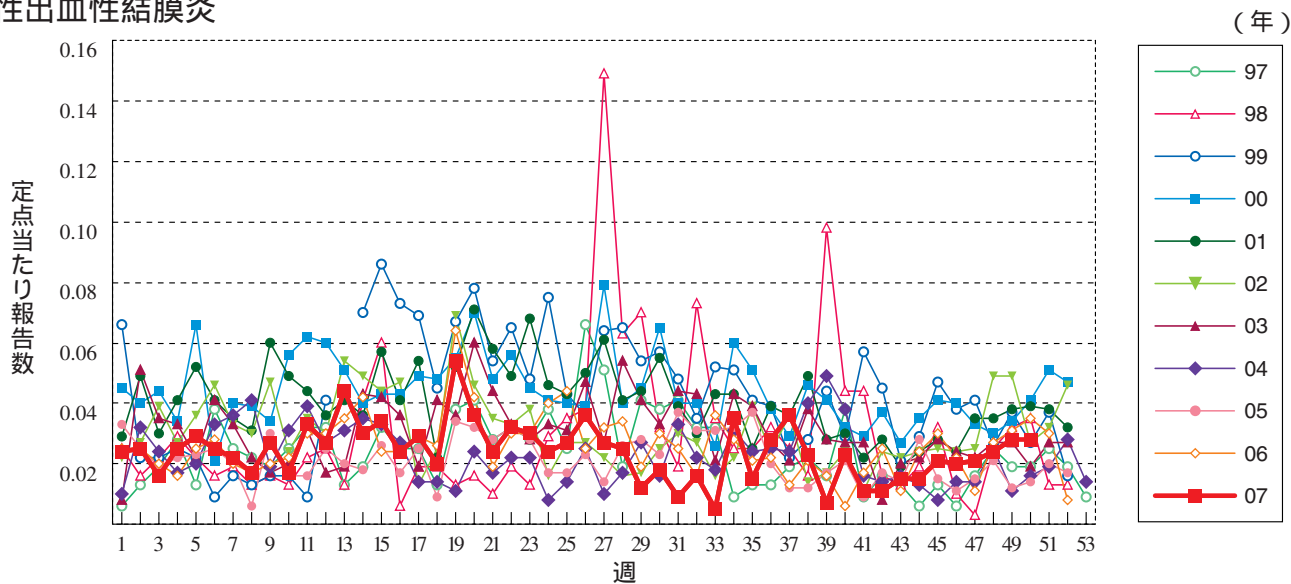
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



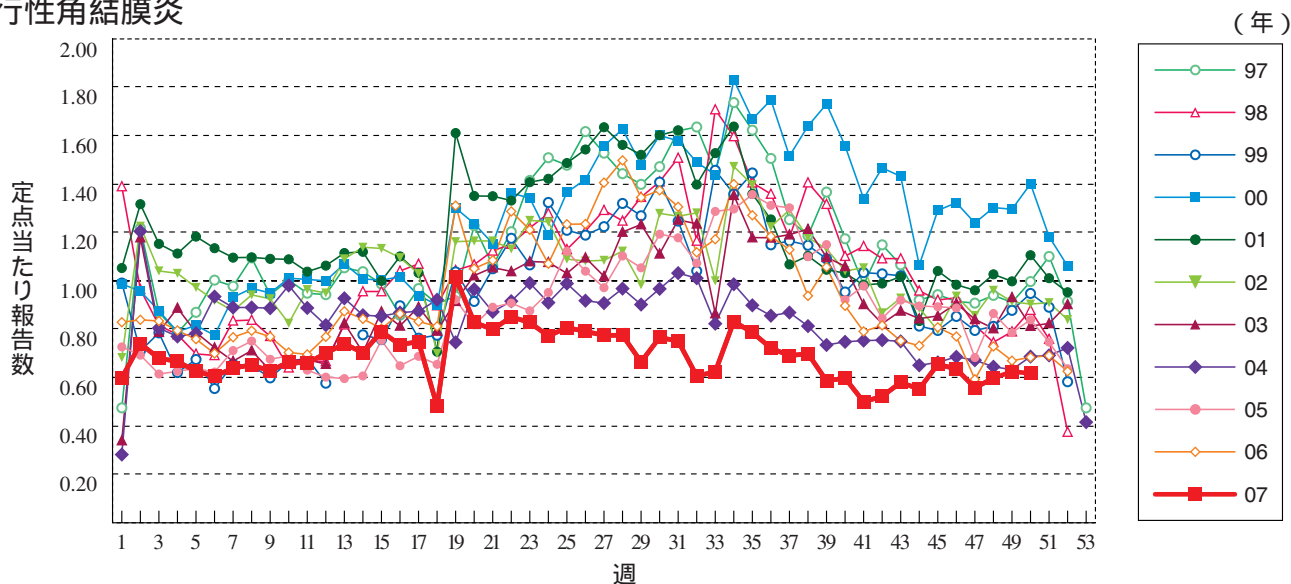
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

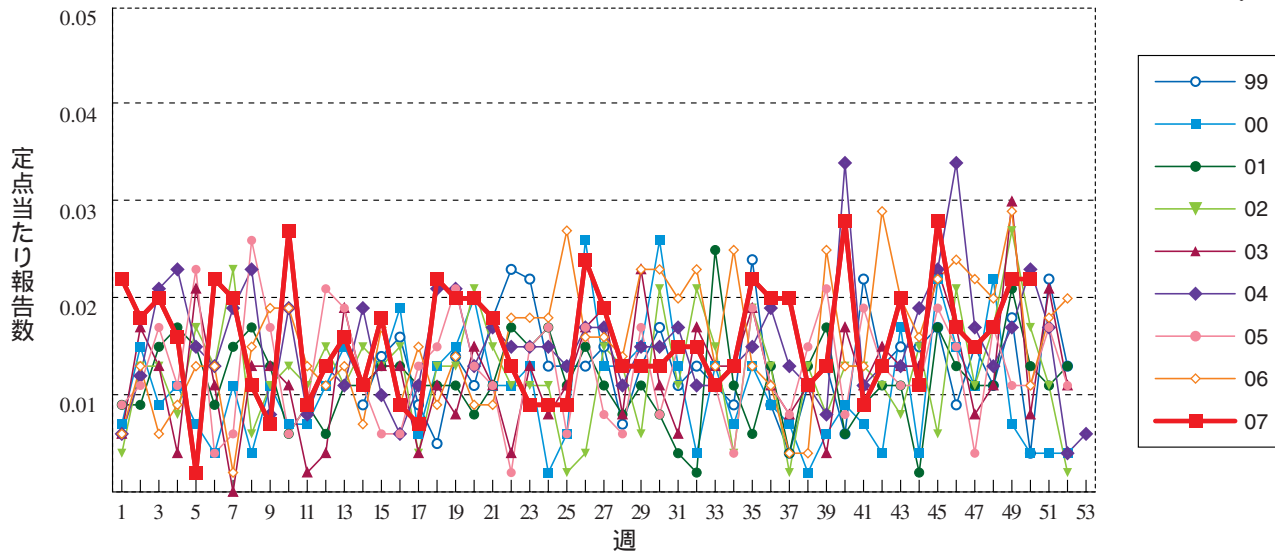


流行性角結膜炎



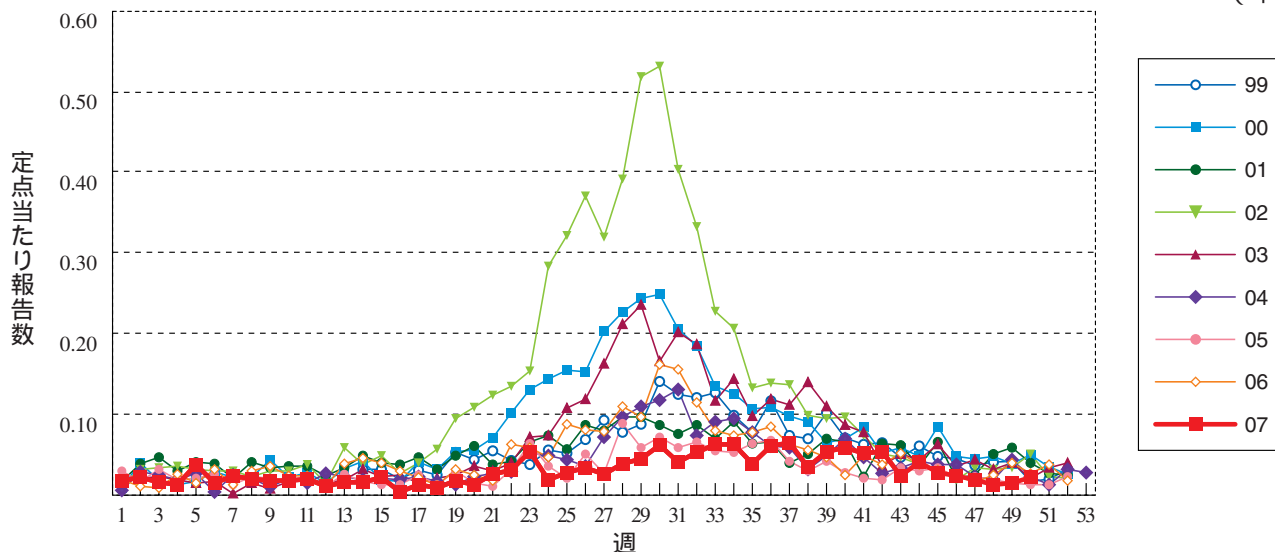
細菌性髄膜炎

(年)



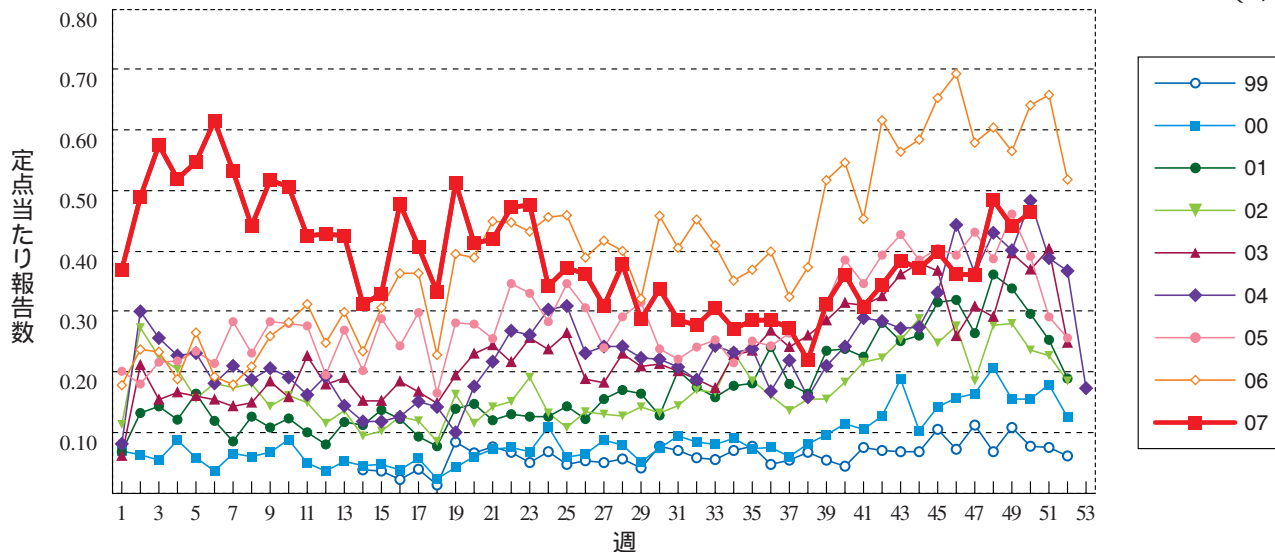
無菌性髄膜炎

(年)



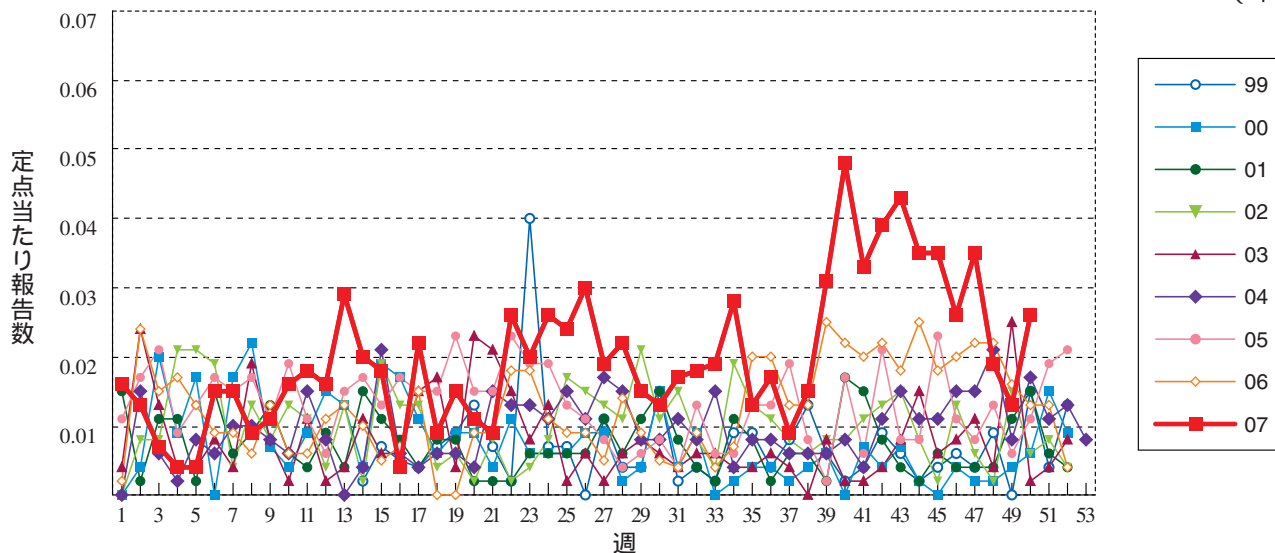
マイコプラズマ肺炎

(年)



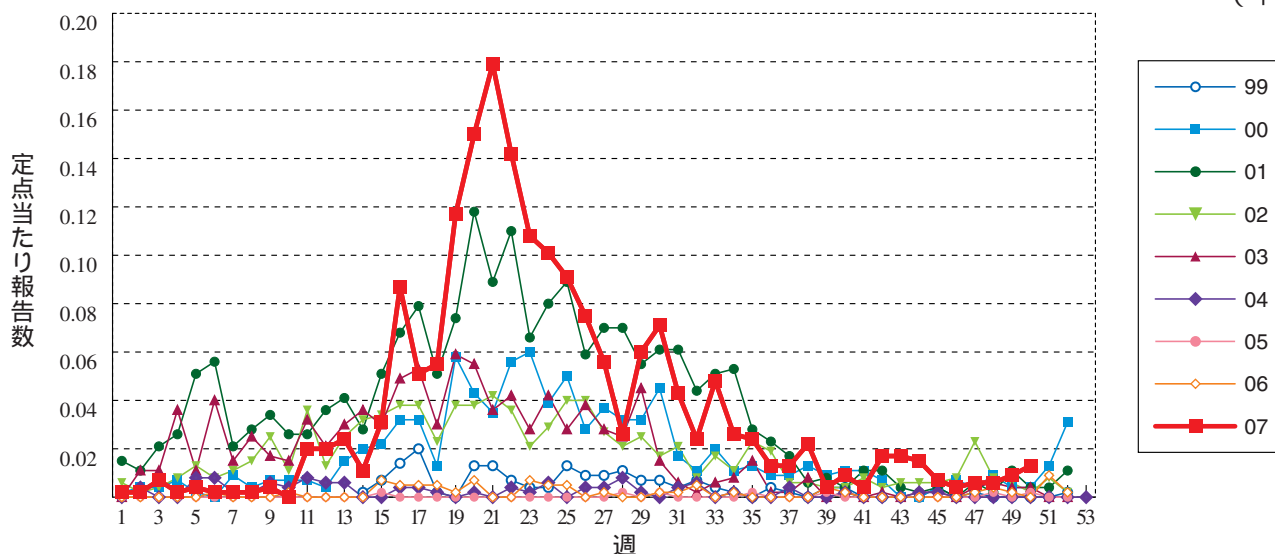
クラミジア肺炎 ( オウム病を除く )

( 年 )



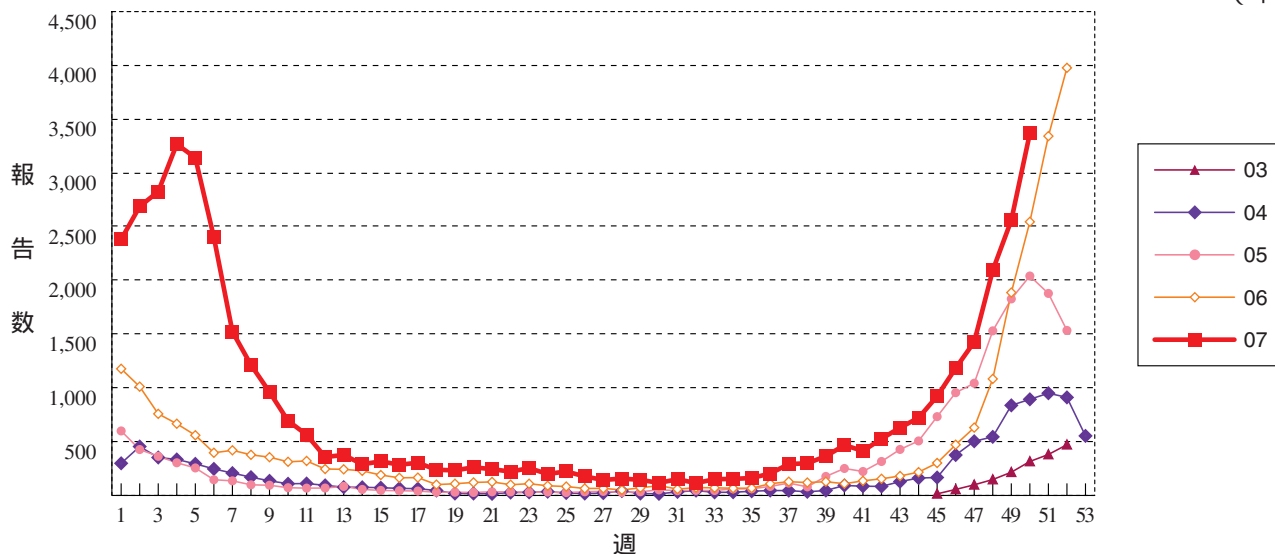
成人麻しん

( 年 )



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

( 年 )

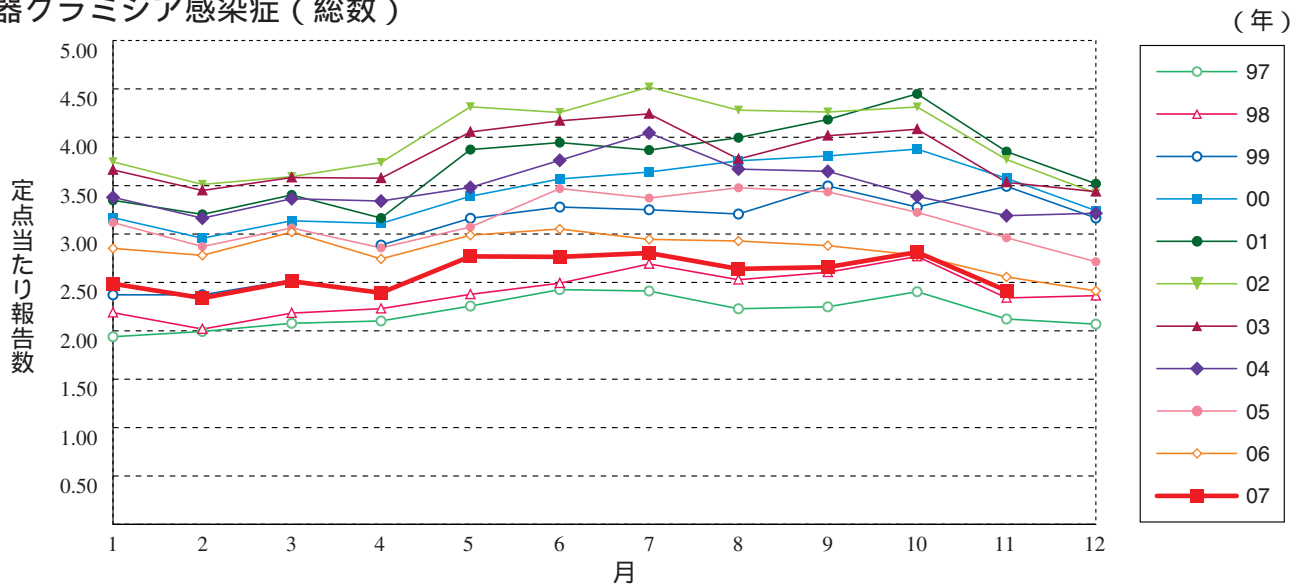




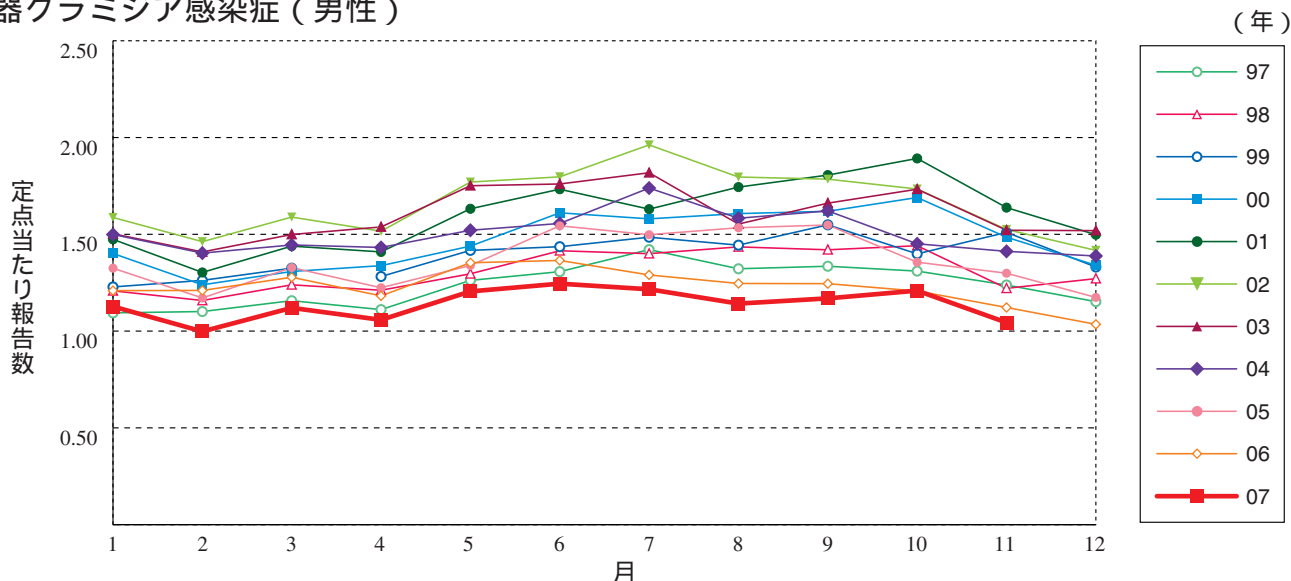
**グラフ総覧( 11月 )**

注 )1999年4月以降は定点設定が変更されております。

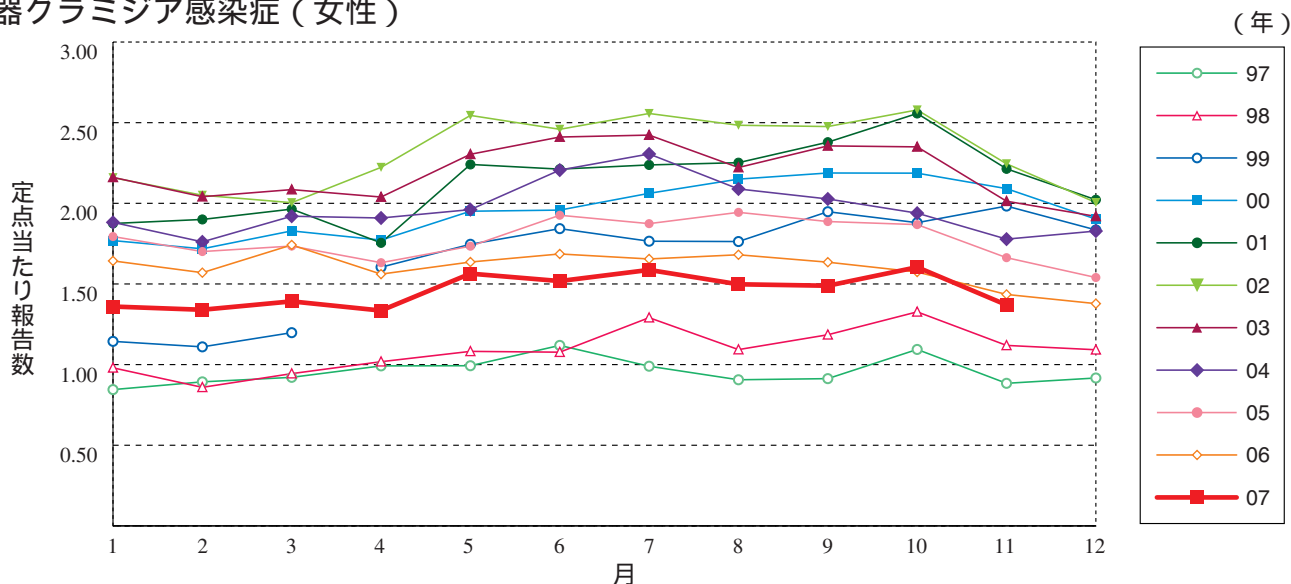
**性器クラミジア感染症 ( 総数 )**



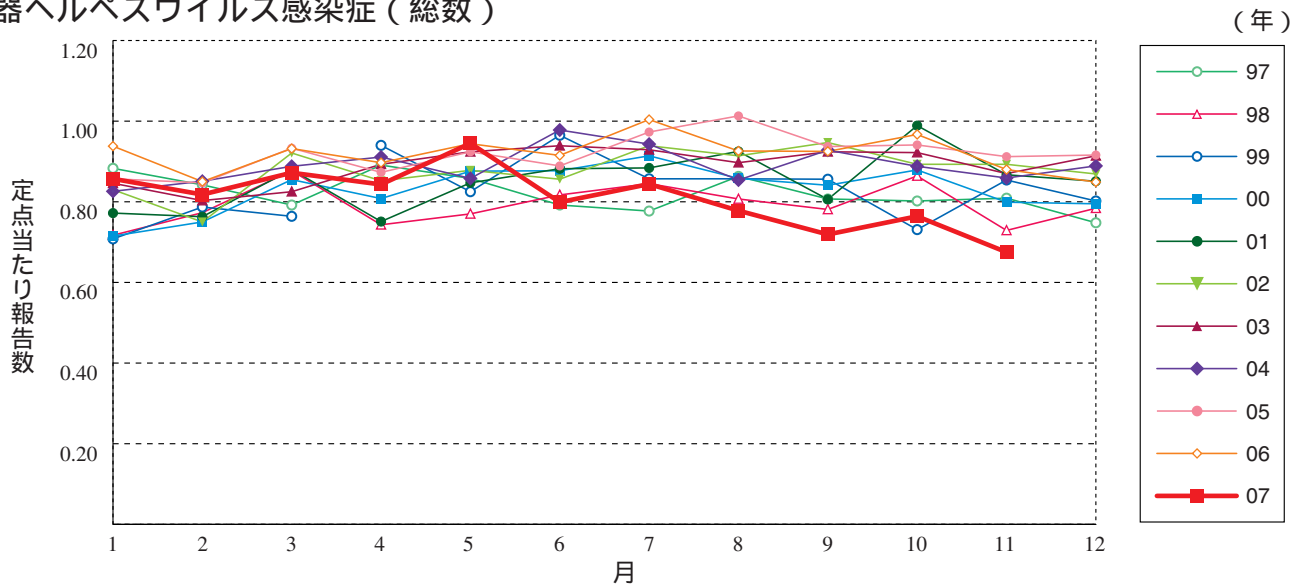
**性器クラミジア感染症 ( 男性 )**



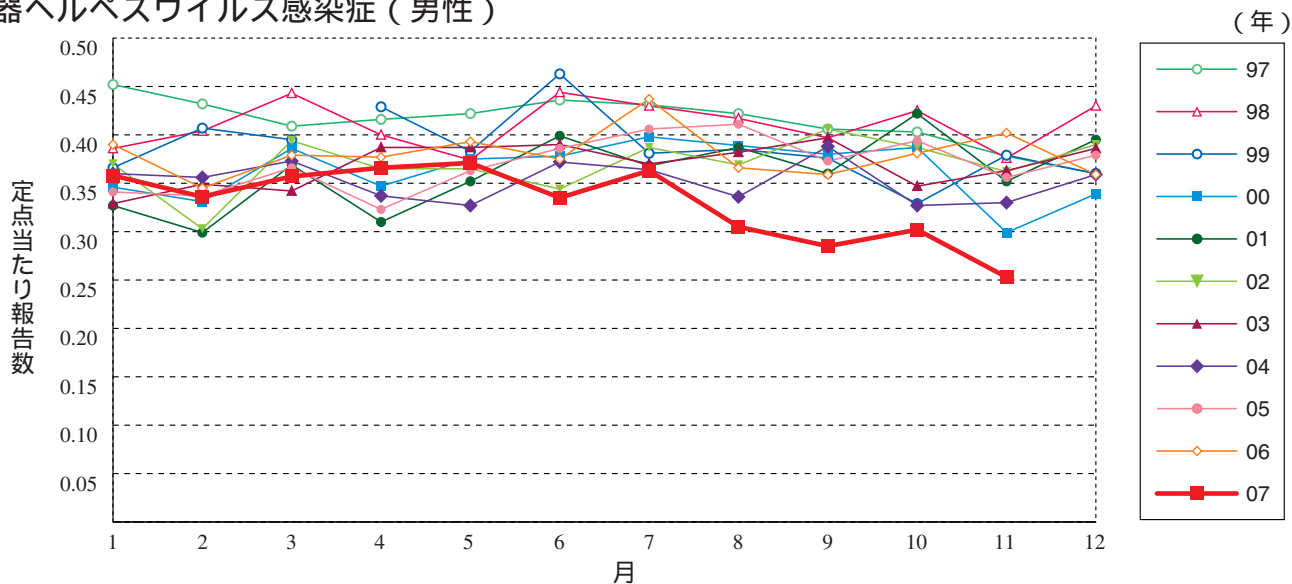
**性器クラミジア感染症 ( 女性 )**



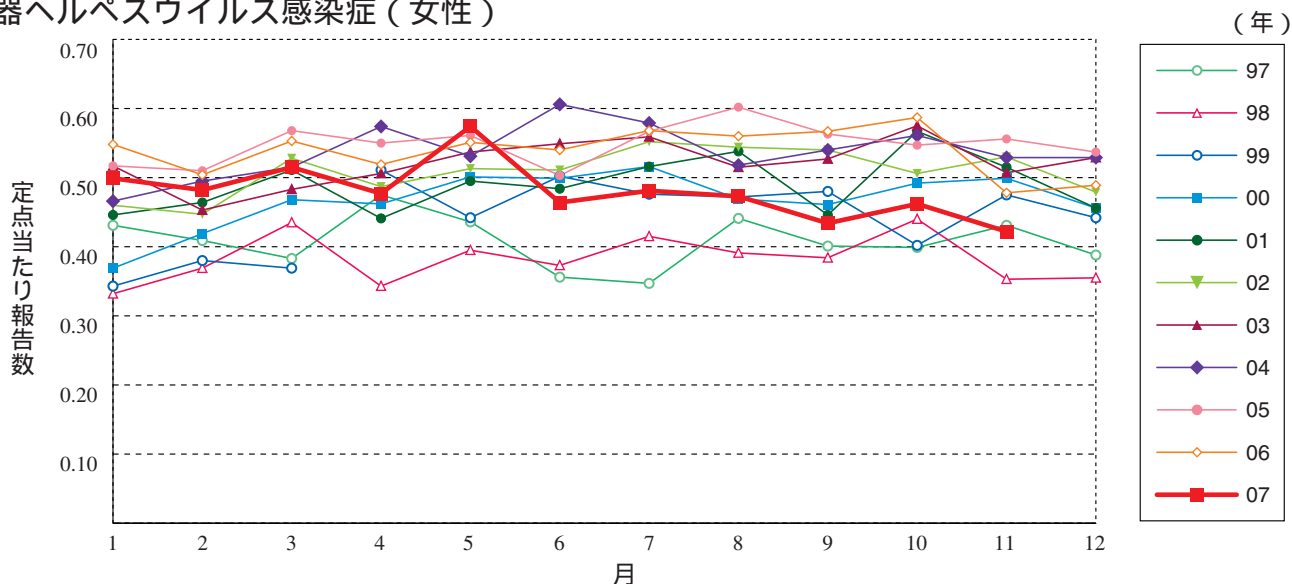
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



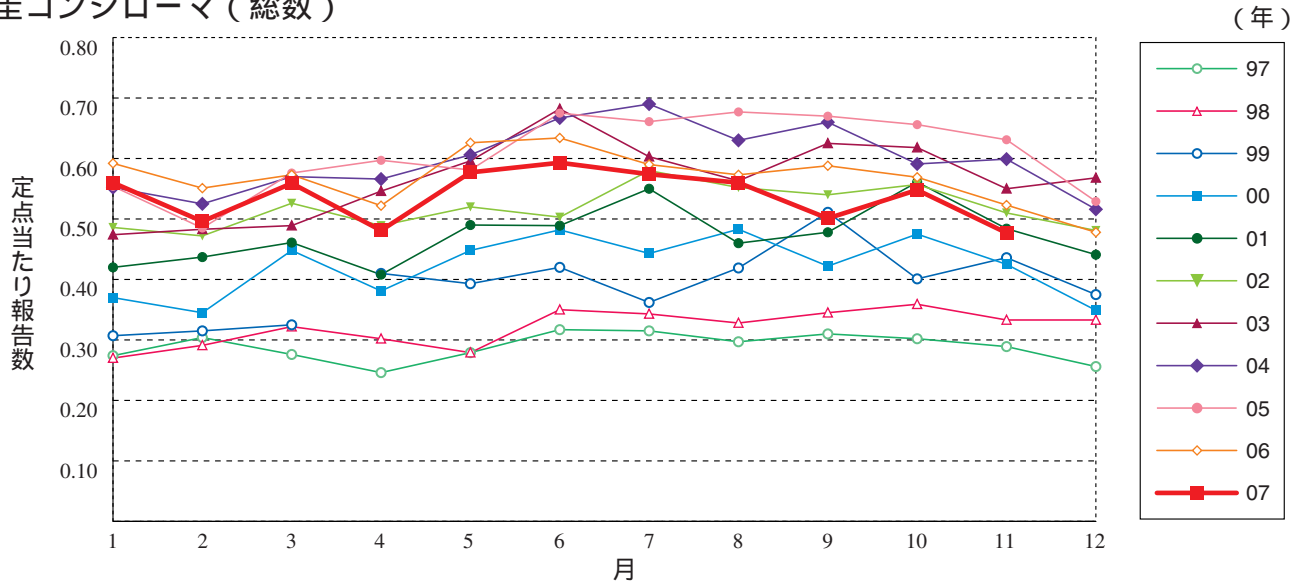
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



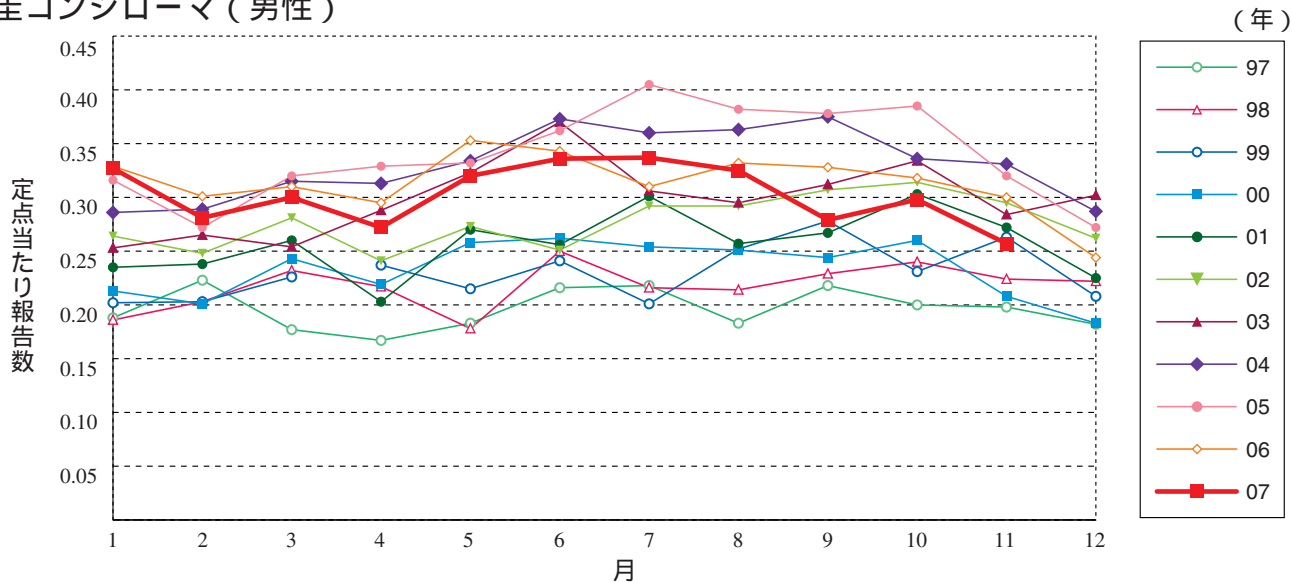
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



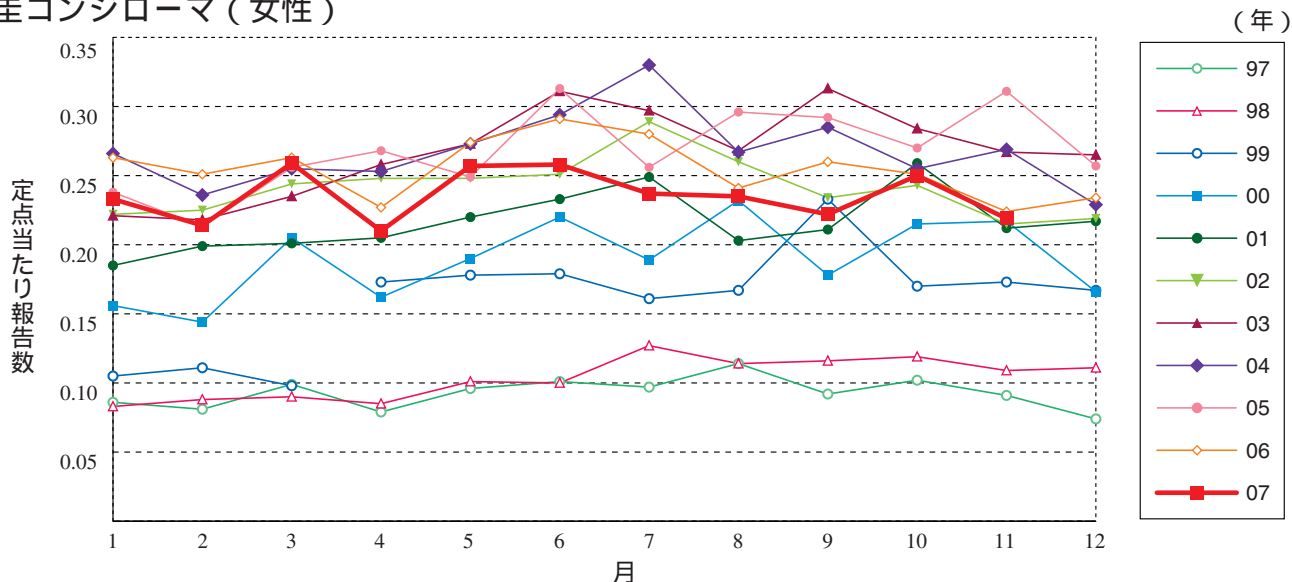
尖圭コンジローマ ( 総数 )



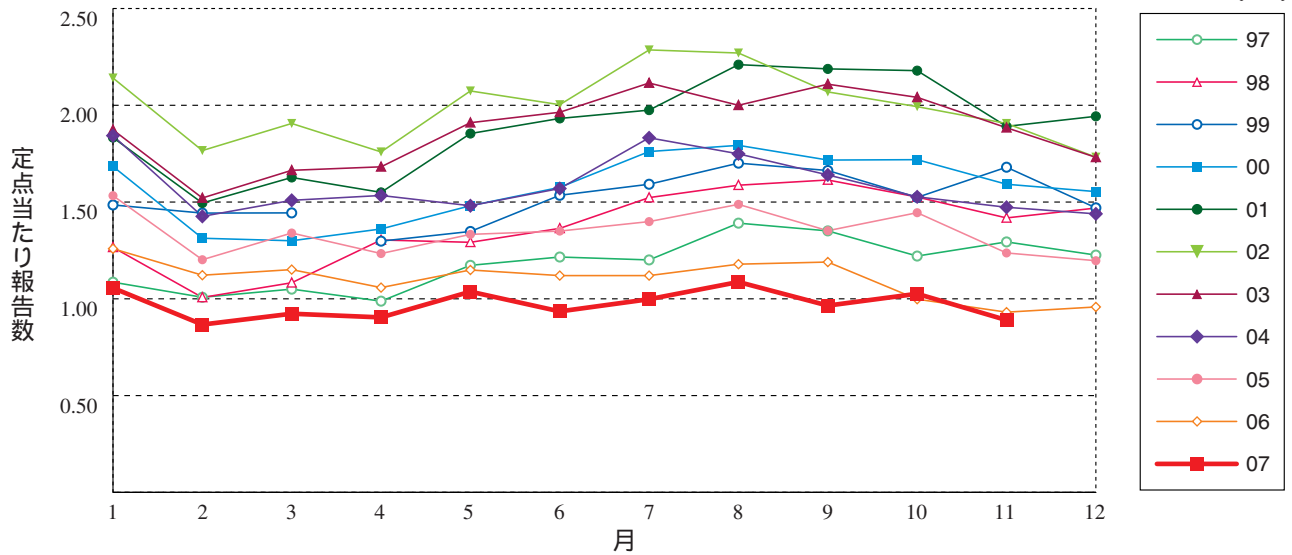
尖圭コンジローマ ( 男性 )



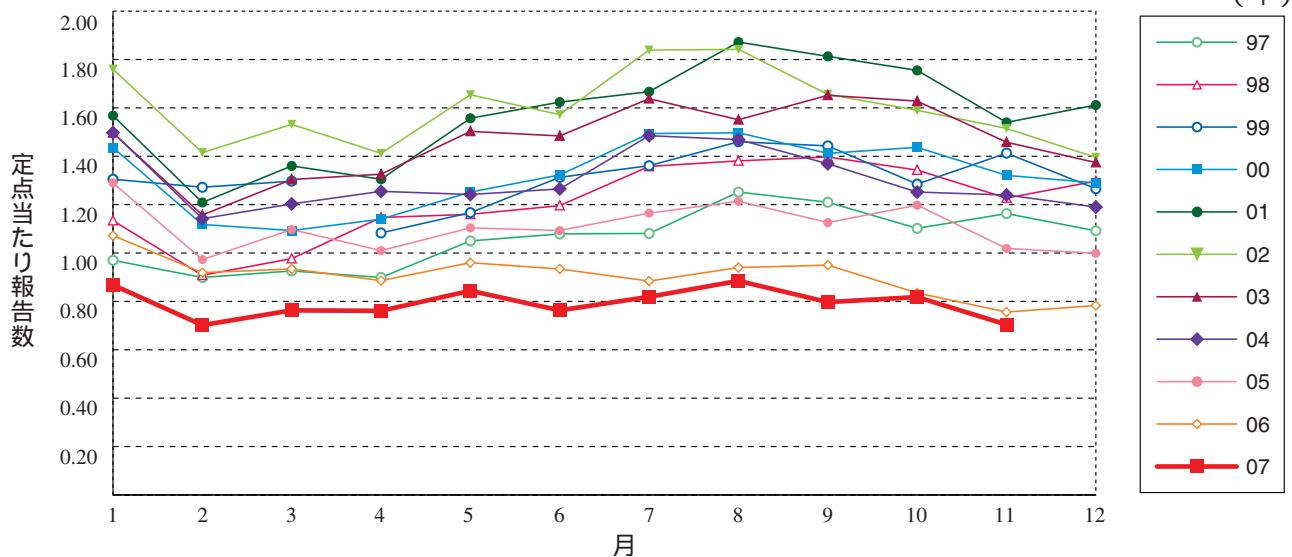
尖圭コンジローマ ( 女性 )



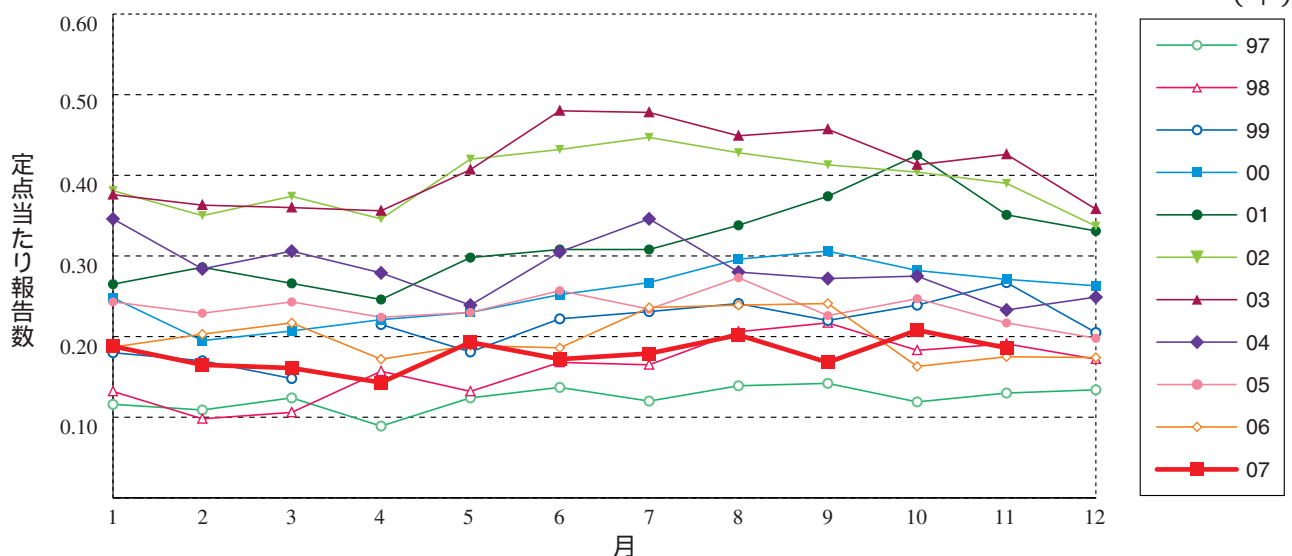
淋菌感染症 ( 総数 )



淋菌感染症 ( 男性 )



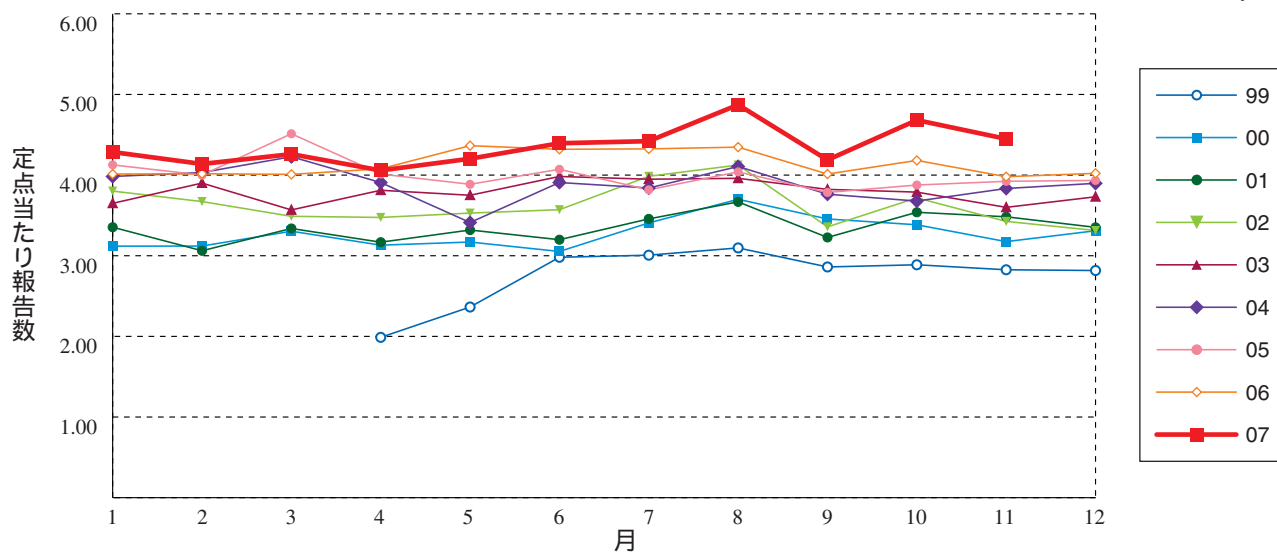
淋菌感染症 ( 女性 )





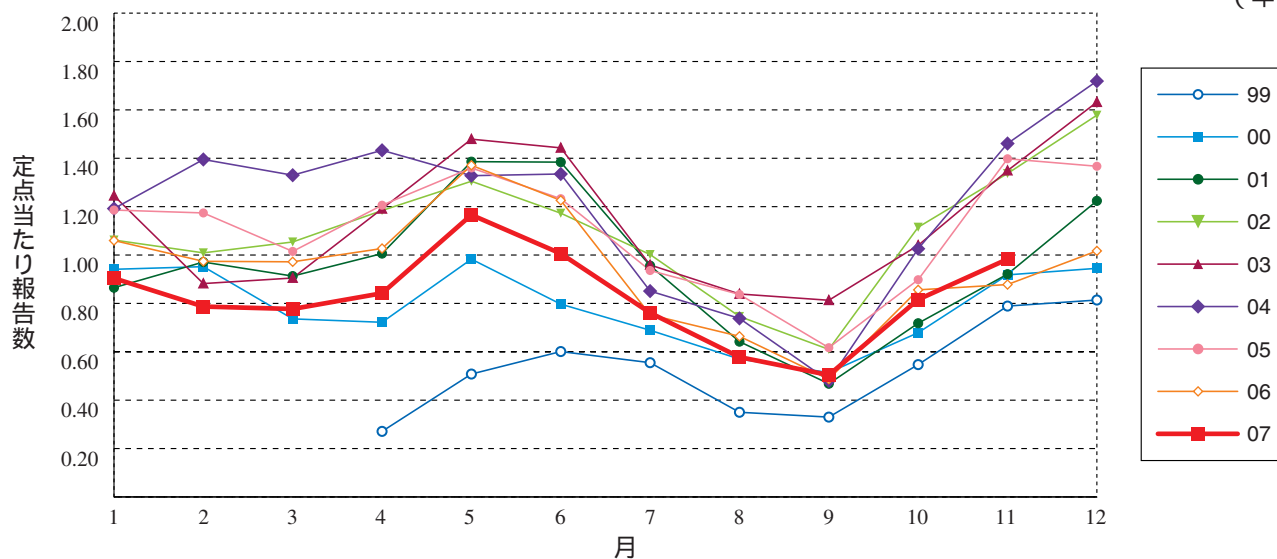
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



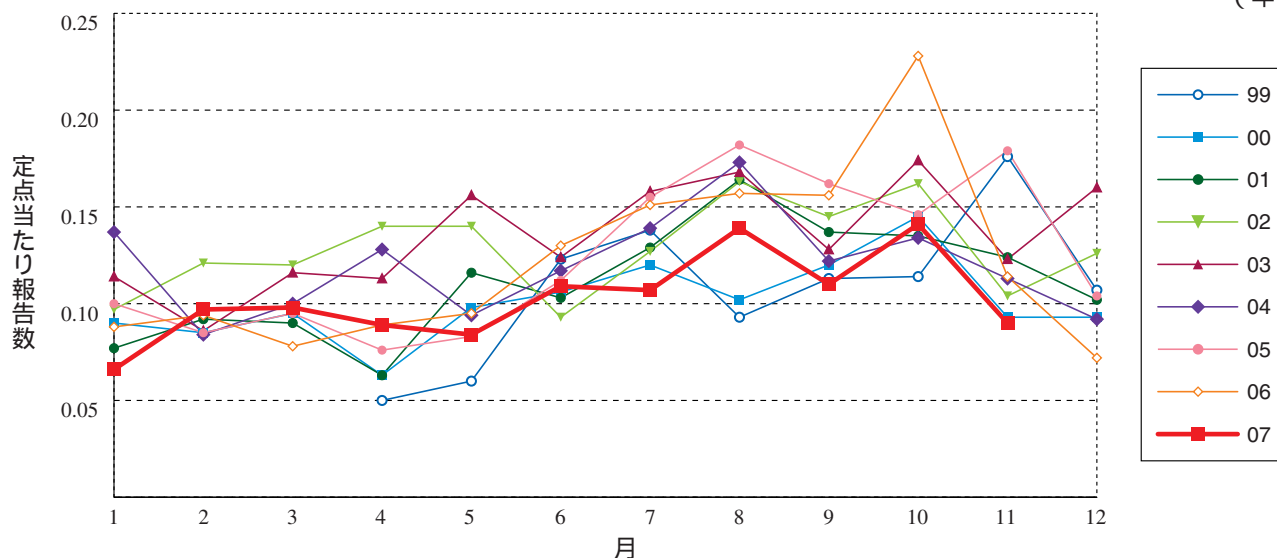
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





# 11月のデータ

注)12月11日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

2007年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2335	2.41	653	0.68	461	0.48	861	0.89	2082	4.45	460	0.98	42	0.09
北海道	177	4.21	32	0.76	25	0.60	39	0.93	39	1.70	2	0.09	-	-
青森県	28	2.15	5	0.38	7	0.54	8	0.62	11	1.83	-	-	-	-
岩手県	21	1.62	7	0.54	8	0.62	12	0.92	106	5.30	9	0.45	2	0.10
宮城県	40	2.11	15	0.79	6	0.32	15	0.79	46	3.83	13	1.08	7	0.58
秋田県	29	2.07	7	0.50	5	0.36	8	0.57	37	4.63	5	0.63	-	-
山形県	8	0.80	-	-	2	0.20	5	0.50	55	5.50	9	0.90	1	0.10
福島県	44	2.75	12	0.75	14	0.88	21	1.31	58	8.29	-	-	-	-
茨城県	83	3.77	27	1.23	10	0.45	16	0.73	27	2.08	-	-	3	0.23
栃木県	43	2.69	7	0.44	8	0.50	16	1.00	62	8.86	3	0.43	-	-
群馬県	75	2.88	18	0.69	4	0.15	11	0.42	35	4.38	15	1.88	-	-
埼玉県	132	2.36	30	0.54	14	0.25	25	0.45	29	3.22	20	2.22	2	0.22
千葉県	91	2.46	29	0.78	12	0.32	26	0.70	37	4.11	61	6.78	-	-
東京都	219	3.98	80	1.45	79	1.44	86	1.56	142	5.92	69	2.88	3	0.13
神奈川県	76	1.33	35	0.61	17	0.30	43	0.75	33	3.67	12	1.33	-	-
新潟県	18	1.20	4	0.27	9	0.60	19	1.27	60	4.62	11	0.85	-	-
富山県	17	1.70	7	0.70	3	0.30	8	0.80	18	3.60	4	0.80	-	-
石川県	16	1.60	4	0.40	-	-	13	1.30	22	4.40	2	0.40	1	0.20
福井県	6	1.20	1	0.20	-	-	4	0.80	30	5.00	11	1.83	-	-
山梨県	13	1.44	4	0.44	2	0.22	6	0.67	20	2.00	1	0.10	2	0.20
長野県	38	2.38	2	0.13	5	0.31	13	0.81	47	4.27	11	1.00	1	0.09
岐阜県	22	1.57	9	0.64	6	0.43	21	1.50	25	5.00	5	1.00	-	-
静岡県	62	2.07	9	0.30	5	0.17	12	0.40	52	5.20	15	1.50	-	-
愛知県	145	2.34	53	0.85	42	0.68	74	1.19	68	4.86	4	0.29	2	0.14
三重県	17	1.13	11	0.73	1	0.07	10	0.67	60	6.67	1	0.11	1	0.11
滋賀県	8	0.89	2	0.22	-	-	3	0.33	53	7.57	-	-	-	-
京都府	40	1.74	4	0.17	3	0.13	1	0.04	18	2.57	-	-	-	-
大阪府	213	3.33	61	0.95	57	0.89	94	1.47	79	5.27	11	0.73	1	0.07
兵庫県	83	1.80	36	0.78	29	0.63	29	0.63	28	2.33	4	0.33	-	-
奈良県	13	1.44	-	-	2	0.22	3	0.33	34	5.67	5	0.83	2	0.33
和歌山県	15	1.88	-	-	1	0.13	7	0.88	28	2.55	4	0.36	-	-
鳥取県	11	2.20	-	-	-	-	1	0.20	22	4.40	1	0.20	-	-
島根県	15	2.50	1	0.17	1	0.17	5	0.83	55	6.88	15	1.88	-	-
岡山県	38	1.73	10	0.45	3	0.14	16	0.73	6	1.20	2	0.40	-	-
広島県	51	2.22	15	0.65	12	0.52	20	0.87	116	5.52	36	1.71	4	0.19
山口県	30	2.50	14	1.17	5	0.42	9	0.75	63	7.00	8	0.89	5	0.56
徳島県	15	1.88	4	0.50	2	0.25	3	0.38	48	6.86	1	0.14	-	-
香川県	18	1.20	5	0.33	9	0.60	12	0.80	22	4.40	7	1.40	-	-
愛媛県	15	1.36	5	0.45	3	0.27	5	0.45	17	2.83	-	-	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	47	6.71	18	2.57	1	0.14
福岡県	142	3.84	31	0.84	24	0.65	64	1.73	71	5.07	5	0.36	-	-
佐賀県	20	2.86	9	1.29	1	0.14	6	0.86	26	4.33	6	1.00	-	-
長崎県	17	1.70	5	0.50	-	-	3	0.30	58	4.83	7	0.58	-	-
熊本県	57	4.38	21	1.62	6	0.46	22	1.69	40	2.67	1	0.07	-	-
大分県	8	0.80	4	0.40	2	0.20	14	1.40	30	2.73	31	2.82	-	-
宮崎県	38	2.92	7	0.54	5	0.38	12	0.92	25	3.57	3	0.43	2	0.29
鹿児島県	36	2.25	8	0.50	7	0.44	16	1.00	23	1.92	1	0.08	1	0.08
沖縄県	30	2.50	3	0.25	5	0.42	3	0.25	54	7.71	11	1.57	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2007年11月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1010	1.04	245	0.25	249	0.26	681	0.70	1333	2.85	280	0.60	28	0.06
北海道	37	0.88	6	0.14	7	0.17	22	0.52	29	1.26	-	-	-	-
青森県	14	1.08	2	0.15	3	0.23	6	0.46	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	10	0.77	1	0.08	7	0.54	9	0.69	67	3.35	5	0.25	2	0.10
宮城県	23	1.21	4	0.21	3	0.16	15	0.79	31	2.58	10	0.83	4	0.33
秋田県	16	1.14	6	0.43	4	0.29	6	0.43	22	2.75	3	0.38	-	-
山形県	7	0.70	-	-	1	0.10	4	0.40	38	3.80	3	0.30	-	-
福島県	17	1.06	6	0.38	5	0.31	17	1.06	38	5.43	-	-	-	-
茨城県	23	1.05	1	0.05	4	0.18	11	0.50	14	1.08	-	-	2	0.15
栃木県	22	1.38	6	0.38	7	0.44	14	0.88	38	5.43	2	0.29	-	-
群馬県	28	1.08	1	0.04	3	0.12	10	0.38	15	1.88	6	0.75	-	-
埼玉県	34	0.61	9	0.16	7	0.13	23	0.41	22	2.44	16	1.78	1	0.11
千葉県	36	0.97	15	0.41	10	0.27	23	0.62	16	1.78	31	3.44	-	-
東京都	111	2.02	48	0.87	48	0.87	72	1.31	86	3.58	39	1.63	2	0.08
神奈川県	34	0.60	12	0.21	9	0.16	40	0.70	26	2.89	6	0.67	-	-
新潟県	13	0.87	1	0.07	5	0.33	17	1.13	41	3.15	8	0.62	-	-
富山県	11	1.10	3	0.30	2	0.20	6	0.60	10	2.00	3	0.60	-	-
石川県	7	0.70	1	0.10	-	-	12	1.20	16	3.20	1	0.20	-	-
福井県	5	1.00	1	0.20	-	-	4	0.80	22	3.67	8	1.33	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	4	0.44	12	1.20	1	0.10	1	0.10
長野県	19	1.19	1	0.06	1	0.06	12	0.75	29	2.64	9	0.82	1	0.09
岐阜県	14	1.00	8	0.57	3	0.21	18	1.29	16	3.20	5	1.00	-	-
静岡県	33	1.10	2	0.07	3	0.10	5	0.17	35	3.50	10	1.00	-	-
愛知県	91	1.47	19	0.31	27	0.44	58	0.94	40	2.86	3	0.21	2	0.14
三重県	6	0.40	6	0.40	1	0.07	9	0.60	40	4.44	1	0.11	1	0.11
滋賀県	4	0.44	-	-	-	-	3	0.33	30	4.29	-	-	-	-
京都府	7	0.30	1	0.04	-	-	1	0.04	15	2.14	-	-	-	-
大阪府	74	1.16	24	0.38	22	0.34	60	0.94	56	3.73	7	0.47	1	0.07
兵庫県	40	0.87	17	0.37	20	0.43	26	0.57	22	1.83	2	0.17	-	-
奈良県	6	0.67	-	-	1	0.11	3	0.33	23	3.83	4	0.67	2	0.33
和歌山県	10	1.25	-	-	1	0.13	7	0.88	19	1.73	2	0.18	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-	1	0.20	12	2.40	1	0.20	-	-
島根県	5	0.83	-	-	1	0.17	4	0.67	35	4.38	9	1.13	-	-
岡山県	14	0.64	2	0.09	-	-	12	0.55	5	1.00	1	0.20	-	-
広島県	32	1.39	7	0.30	7	0.30	18	0.78	75	3.57	26	1.24	3	0.14
山口県	6	0.50	3	0.25	1	0.08	6	0.50	35	3.89	3	0.33	4	0.44
徳島県	12	1.50	3	0.38	2	0.25	3	0.38	31	4.43	1	0.14	-	-
香川県	7	0.47	3	0.20	6	0.40	5	0.33	11	2.20	3	0.60	-	-
愛媛県	3	0.27	1	0.09	3	0.27	5	0.45	12	2.00	-	-	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	32	4.57	10	1.43	1	0.14
福岡県	91	2.46	8	0.22	16	0.43	52	1.41	42	3.00	3	0.21	-	-
佐賀県	14	2.00	3	0.43	-	-	5	0.71	20	3.33	6	1.00	-	-
長崎県	10	1.00	1	0.10	-	-	3	0.30	40	3.33	4	0.33	-	-
熊本県	11	0.85	10	0.77	3	0.23	14	1.08	28	1.87	1	0.07	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-	11	1.10	19	1.73	17	1.55	-	-
宮崎県	19	1.46	-	-	2	0.15	11	0.85	16	2.29	2	0.29	1	0.14
鹿児島県	19	1.19	2	0.13	3	0.19	9	0.56	15	1.25	-	-	-	-
沖縄県	6	0.50	1	0.08	1	0.08	3	0.25	30	4.29	8	1.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2007年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1325	1.37	408	0.42	212	0.22	180	0.19	749	1.60	180	0.38	14	0.03
北海道	140	3.33	26	0.62	18	0.43	17	0.40	10	0.43	2	0.09	-	-
青森県	14	1.08	3	0.23	4	0.31	2	0.15	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	11	0.85	6	0.46	1	0.08	3	0.23	39	1.95	4	0.20	-	-
宮城県	17	0.89	11	0.58	3	0.16	-	-	15	1.25	3	0.25	3	0.25
秋田県	13	0.93	1	0.07	1	0.07	2	0.14	15	1.88	2	0.25	-	-
山形県	1	0.10	-	-	1	0.10	1	0.10	17	1.70	6	0.60	1	0.10
福島県	27	1.69	6	0.38	9	0.56	4	0.25	20	2.86	-	-	-	-
茨城県	60	2.73	26	1.18	6	0.27	5	0.23	13	1.00	-	-	1	0.08
栃木県	21	1.31	1	0.06	1	0.06	2	0.13	24	3.43	1	0.14	-	-
群馬県	47	1.81	17	0.65	1	0.04	1	0.04	20	2.50	9	1.13	-	-
埼玉県	98	1.75	21	0.38	7	0.13	2	0.04	7	0.78	4	0.44	1	0.11
千葉県	55	1.49	14	0.38	2	0.05	3	0.08	21	2.33	30	3.33	-	-
東京都	108	1.96	32	0.58	31	0.56	14	0.25	56	2.33	30	1.25	1	0.04
神奈川県	42	0.74	23	0.40	8	0.14	3	0.05	7	0.78	6	0.67	-	-
新潟県	5	0.33	3	0.20	4	0.27	2	0.13	19	1.46	3	0.23	-	-
富山県	6	0.60	4	0.40	1	0.10	2	0.20	8	1.60	1	0.20	-	-
石川県	9	0.90	3	0.30	-	-	1	0.10	6	1.20	1	0.20	1	0.20
福井県	1	0.20	-	-	-	-	-	-	8	1.33	3	0.50	-	-
山梨県	13	1.44	4	0.44	2	0.22	2	0.22	8	0.80	-	-	1	0.10
長野県	19	1.19	1	0.06	4	0.25	1	0.06	18	1.64	2	0.18	-	-
岐阜県	8	0.57	1	0.07	3	0.21	3	0.21	9	1.80	-	-	-	-
静岡県	29	0.97	7	0.23	2	0.07	7	0.23	17	1.70	5	0.50	-	-
愛知県	54	0.87	34	0.55	15	0.24	16	0.26	28	2.00	1	0.07	-	-
三重県	11	0.73	5	0.33	-	-	1	0.07	20	2.22	-	-	-	-
滋賀県	4	0.44	2	0.22	-	-	-	-	23	3.29	-	-	-	-
京都府	33	1.43	3	0.13	3	0.13	-	-	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	139	2.17	37	0.58	35	0.55	34	0.53	23	1.53	4	0.27	-	-
兵庫県	43	0.93	19	0.41	9	0.20	3	0.07	6	0.50	2	0.17	-	-
奈良県	7	0.78	-	-	1	0.11	-	-	11	1.83	1	0.17	-	-
和歌山県	5	0.63	-	-	-	-	-	-	9	0.82	2	0.18	-	-
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-	-	-	10	2.00	-	-	-	-
島根県	10	1.67	1	0.17	-	-	1	0.17	20	2.50	6	0.75	-	-
岡山県	24	1.09	8	0.36	3	0.14	4	0.18	1	0.20	1	0.20	-	-
広島県	19	0.83	8	0.35	5	0.22	2	0.09	41	1.95	10	0.48	1	0.05
山口県	24	2.00	11	0.92	4	0.33	3	0.25	28	3.11	5	0.56	1	0.11
徳島県	3	0.38	1	0.13	-	-	-	-	17	2.43	-	-	-	-
香川県	11	0.73	2	0.13	3	0.20	7	0.47	11	2.20	4	0.80	-	-
愛媛県	12	1.09	4	0.36	-	-	-	-	5	0.83	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	15	2.14	8	1.14	-	-
福岡県	51	1.38	23	0.62	8	0.22	12	0.32	29	2.07	2	0.14	-	-
佐賀県	6	0.86	6	0.86	1	0.14	1	0.14	6	1.00	-	-	-	-
長崎県	7	0.70	4	0.40	-	-	-	-	18	1.50	3	0.25	-	-
熊本県	46	3.54	11	0.85	3	0.23	8	0.62	12	0.80	-	-	-	-
大分県	7	0.70	4	0.40	2	0.20	3	0.30	11	1.00	14	1.27	-	-
宮崎県	19	1.46	7	0.54	3	0.23	1	0.08	9	1.29	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	17	1.06	6	0.38	4	0.25	7	0.44	8	0.67	1	0.08	1	0.08
沖縄県	24	2.00	2	0.17	4	0.33	-	-	24	3.43	3	0.43	1	0.14



50週のデータ

注1) 表中の報告数は12月19日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

\*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年50週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核*		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	269	18525
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	558
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	181
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	113
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	234
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	127
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	189
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	348
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	213
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	202
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	783
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	971
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	2833
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1158
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	266
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	149
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	156
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	112
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	187
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	335
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	390
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1297
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	300
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	171
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	470
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1626
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	637
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	170
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	92
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	253
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	413
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	196
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	147
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	256
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	122
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	913
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	145
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	342
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	138
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	174
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	282
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		バラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	12	1	438	27	4544	2	47	-	20	-	52	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	6	-	109	-	1	-	-	-	10	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	93	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	251	-	1	-	2	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	4	3	63	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	54	-	2	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	50	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	38	-	1	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	75	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	67	-	150	-	3	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	44	2	178	1	2	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	82	2	472	-	11	-	6	-	3	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	173	1	1	-	3	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	32	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	129	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	50	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	1	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	60	-	-	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	32	-	77	-	1	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	25	1	164	-	3	-	-	-	8	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	29	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	55	-	-	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	101	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	1	54	2	434	-	9	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	7	12	209	-	4	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	48	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	99	-	1	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	101	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	48	-	1	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	7	1	243	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	92	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	68	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	129	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	149	-	16	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
北海道	-	9	-	13	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	19	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	11	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	304	2	88	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	43	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	25	1	8	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	23	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	37	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	89	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類 鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	3	1	50	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年50週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	9	631	-	32	-	-	7	753	-	225	1	211	-	6	4	139	1	93
北海道	1	31	-	-	-	-	-	23	-	5	-	12	-	-	-	3	-	6
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	-	-	27	-	3	-	2	-	-	1	1	-	2
秋田県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	10	-	-	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	-	-	-	2
福島県	-	12	-	-	-	-	-	7	-	3	-	3	-	-	-	1	-	1
茨城県	-	17	-	-	-	-	-	10	-	3	-	9	-	-	-	1	-	3
栃木県	-	4	-	1	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	10	-	-	-	-	-	4	-	4	-	3	-	-	-	5	-	-
埼玉県	-	30	-	1	-	-	-	27	-	1	-	11	-	-	-	4	-	5
千葉県	-	19	-	-	-	-	-	33	-	-	-	15	-	-	-	8	-	4
東京都	1	53	-	3	-	-	-	159	-	40	-	18	-	1	-	14	-	6
神奈川県	-	40	-	1	-	-	-	79	-	15	-	5	-	1	-	8	-	11
新潟県	1	20	-	1	-	-	-	3	-	-	-	7	-	1	-	5	-	2
富山県	-	14	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	2
石川県	1	13	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
福井県	-	4	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	5	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	14	-	-	-	-	1	14	-	6	-	3	-	-	-	-	-	3
岐阜県	1	18	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1
静岡県	-	27	-	1	-	-	2	23	-	3	-	2	-	-	-	4	-	3
愛知県	1	41	-	-	-	-	1	55	-	8	-	4	-	-	-	6	-	6
三重県	-	12	-	-	-	-	-	5	-	2	-	3	-	-	-	2	-	1
滋賀県	-	7	-	-	-	-	-	15	-	2	-	2	-	-	-	4	1	1
京都府	-	18	-	-	-	-	1	21	-	7	-	5	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	41	-	-	-	-	-	78	-	26	-	31	-	-	-	6	-	4
兵庫県	1	23	-	-	-	-	2	35	-	14	-	10	-	-	1	10	-	3
奈良県	1	3	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	7	-	5	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	2	-	2
岡山県	-	11	-	-	-	-	-	8	-	13	-	4	-	-	-	2	-	3
広島県	1	26	-	-	-	-	-	10	-	10	-	3	-	1	-	3	-	5
山口県	-	8	-	-	-	-	-	6	-	-	-	8	-	-	-	4	-	1
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1
香川県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	2	-	1
愛媛県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	1	1	-	-	-	6	-	1
福岡県	-	19	-	1	-	-	-	24	-	13	-	6	-	1	-	4	-	2
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
長崎県	-	8	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	-	9	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-
大分県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	2	-	4	-	-	-	5	-	2	-	19	-	-	-	1	-	3
鹿児島県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	1	3	-	3
沖縄県	-	7	-	19	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ(H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	11	1403	-	51	1	17	-	-	9	684	-	87	-	-	2	77	-	-
北海道	1	20	-	-	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	19	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	2	-	-
栃木県	1	21	-	-	1	1	-	-	1	8	-	2	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	18	-	-	-	1	-	-	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	33	-	-	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	54	-	3	-	1	-	-	-	21	-	4	-	-	-	-	-	-
東京都	5	480	-	17	-	3	-	-	4	153	-	1	-	-	2	17	-	-
神奈川県	-	85	-	8	-	1	-	-	-	41	-	6	-	-	-	16	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	1	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	5	-	-
岐阜県	-	18	-	1	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	35	-	-	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	5	-	-
愛知県	1	120	-	1	-	2	-	-	1	69	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	18	-	1	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	9	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	20	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	175	-	9	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	34	-	1	-	1	-	-	-	16	-	3	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	10	-	2	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	21	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	6	-	-	-	1	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	34	-	-	-	1	-	-	-	41	-	3	-	-	-	1	-	-
佐賀県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	11	-	-	-	-	-	-	-	50	-	6	-	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	16	-	5	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	26	-	-	-	1	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-

\*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	26983	5.67	928	0.31	6453	2.14	58352	19.32	6544	2.17	1076	0.36	601	0.20	1827	0.60	72	0.02
北海道	4228	18.79	53	0.37	483	3.38	882	6.17	371	2.59	28	0.20	53	0.37	55	0.38	4	0.03
青森県	1189	18.58	56	1.37	50	1.22	304	7.41	92	2.24	31	0.76	11	0.27	12	0.29	-	-
岩手県	105	1.67	21	0.54	59	1.51	354	9.08	118	3.03	6	0.15	23	0.59	14	0.36	-	-
宮城県	474	4.94	14	0.23	135	2.25	1378	22.97	185	3.08	41	0.68	15	0.25	47	0.78	-	-
秋田県	60	1.09	17	0.49	92	2.63	742	21.20	61	1.74	24	0.69	22	0.63	17	0.49	-	-
山形県	26	0.54	4	0.13	126	4.20	634	21.13	65	2.17	12	0.40	19	0.63	20	0.67	-	-
福島県	240	3.00	15	0.31	110	2.29	732	15.25	190	3.96	4	0.08	3	0.06	34	0.71	2	0.04
茨城県	351	2.93	20	0.27	242	3.23	741	9.88	91	1.21	21	0.28	3	0.04	20	0.27	2	0.03
栃木県	187	2.56	5	0.11	105	2.23	646	13.74	97	2.06	13	0.28	8	0.17	33	0.70	5	0.11
群馬県	187	1.89	18	0.30	95	1.56	1291	21.16	142	2.33	16	0.26	16	0.26	53	0.87	4	0.07
埼玉県	2370	9.63	37	0.23	469	2.97	3971	25.13	308	1.95	18	0.11	24	0.15	102	0.65	-	-
千葉県	1793	8.92	18	0.14	298	2.37	2392	18.98	271	2.15	51	0.40	39	0.31	72	0.57	4	0.03
東京都	2048	7.09	47	0.31	279	1.86	3108	20.72	267	1.78	35	0.23	37	0.25	95	0.63	4	0.03
神奈川県	2729	8.75	30	0.15	461	2.31	4320	21.60	408	2.04	49	0.25	40	0.20	136	0.68	2	0.01
新潟県	150	1.56	31	0.51	171	2.80	1137	18.64	284	4.66	17	0.28	72	1.18	39	0.64	1	0.02
富山県	186	3.88	7	0.24	118	4.07	764	26.34	75	2.59	4	0.14	1	0.03	17	0.59	-	-
石川県	28	0.58	20	0.69	118	4.07	750	25.86	119	4.10	2	0.07	7	0.24	18	0.62	-	-
福井県	92	2.88	9	0.41	61	2.77	572	26.00	43	1.95	-	-	8	0.36	5	0.23	1	0.05
山梨県	447	11.18	1	0.04	34	1.42	211	8.79	15	0.63	1	0.04	2	0.08	2	0.08	-	-
長野県	260	2.95	20	0.36	152	2.76	810	14.73	167	3.04	32	0.58	10	0.18	41	0.75	-	-
岐阜県	158	1.84	12	0.23	46	0.88	534	10.27	61	1.17	8	0.15	4	0.08	28	0.54	6	0.12
静岡県	1044	7.91	13	0.15	203	2.36	1961	22.80	177	2.06	25	0.29	3	0.03	74	0.86	2	0.02
愛知県	333	1.72	54	0.30	361	1.99	3847	21.25	311	1.72	84	0.46	22	0.12	107	0.59	7	0.04
三重県	122	1.67	14	0.31	112	2.49	1045	23.22	101	2.24	18	0.40	18	0.40	38	0.84	1	0.02
滋賀県	133	2.56	11	0.34	33	1.03	650	20.31	62	1.94	2	0.06	-	-	8	0.25	1	0.03
京都府	153	1.23	3	0.04	90	1.20	1305	17.40	114	1.52	31	0.41	2	0.03	30	0.40	1	0.01
大阪府	1018	3.58	61	0.32	322	1.69	3171	16.60	366	1.92	51	0.27	27	0.14	108	0.57	5	0.03
兵庫県	2216	11.14	24	0.19	172	1.33	2288	17.74	254	1.97	33	0.26	22	0.17	68	0.53	1	0.01
奈良県	191	3.47	8	0.23	25	0.71	535	15.29	39	1.11	11	0.31	4	0.11	12	0.34	-	-
和歌山県	795	15.90	2	0.06	44	1.42	350	11.29	54	1.74	4	0.13	5	0.16	22	0.71	1	0.03
鳥取県	14	0.48	6	0.32	48	2.53	206	10.84	43	2.26	25	1.32	6	0.32	14	0.74	-	-
島根県	34	0.89	3	0.13	22	0.96	419	18.22	45	1.96	19	0.83	2	0.09	20	0.87	-	-
岡山県	1127	13.42	10	0.19	50	0.93	1090	20.19	70	1.30	18	0.33	12	0.22	21	0.39	2	0.04
広島県	862	7.50	48	0.67	99	1.38	1307	18.15	181	2.51	13	0.18	2	0.03	50	0.69	3	0.04
山口県	372	5.31	30	0.61	253	5.16	1063	21.69	171	3.49	30	0.61	1	0.02	36	0.73	1	0.02
徳島県	120	3.08	1	0.05	30	1.50	415	20.75	22	1.10	5	0.25	4	0.20	10	0.50	1	0.05
香川県	263	5.48	5	0.17	17	0.59	382	13.17	35	1.21	8	0.28	-	-	19	0.66	-	-
愛媛県	253	4.15	6	0.16	102	2.76	902	24.38	127	3.43	22	0.59	3	0.08	25	0.68	1	0.03
高知県	57	1.19	11	0.37	30	1.00	617	20.57	45	1.50	36	1.20	6	0.20	7	0.23	-	-
福岡県	100	0.51	51	0.43	261	2.18	3239	26.99	285	2.38	34	0.28	11	0.09	103	0.86	4	0.03
佐賀県	9	0.23	24	1.04	64	2.78	621	27.00	33	1.43	10	0.43	3	0.13	21	0.91	-	-
長崎県	11	0.16	25	0.57	48	1.09	1365	31.02	91	2.07	1	0.02	1	0.02	23	0.52	2	0.05
熊本県	35	0.44	30	0.63	78	1.63	1376	28.67	120	2.50	12	0.25	3	0.06	37	0.77	-	-
大分県	117	2.02	13	0.36	83	2.31	1508	41.89	108	3.00	57	1.58	16	0.44	32	0.89	1	0.03
宮崎県	22	0.37	14	0.39	98	2.72	709	19.69	89	2.47	28	0.78	2	0.06	36	1.00	2	0.06
鹿児島県	67	0.72	4	0.07	80	1.43	1653	29.52	119	2.13	27	0.48	6	0.11	31	0.55	-	-
沖縄県	207	3.57	2	0.06	24	0.71	55	1.62	52	1.53	59	1.74	3	0.09	15	0.44	1	0.03

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年50週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	6	0.00	184	0.06	33	0.01	929	0.31	19	0.03	415	0.62	10	0.02	10	0.02	213	0.47
北海道	-	-	2	0.01	7	0.05	24	0.17	1	0.03	10	0.34	-	-	-	-	2	0.09
青森県	-	-	-	-	3	0.07	7	0.17	1	0.09	12	1.09	-	-	-	-	11	1.83
岩手県	-	-	11	0.28	-	-	14	0.36	-	-	4	0.33	-	-	-	-	10	0.50
宮城県	-	-	2	0.03	-	-	25	0.42	2	0.17	2	0.17	1	0.08	-	-	10	0.83
秋田県	-	-	4	0.11	-	-	59	1.69	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.25
山形県	-	-	-	-	-	-	11	0.37	-	-	2	0.25	-	-	-	-	15	1.50
福島県	-	-	6	0.13	-	-	7	0.15	-	-	7	0.58	1	0.14	-	-	9	1.29
茨城県	1	0.01	3	0.04	-	-	6	0.08	-	-	35	2.06	-	-	-	-	3	0.23
栃木県	-	-	2	0.04	-	-	25	0.53	-	-	14	1.17	-	-	1	0.14	5	0.71
群馬県	-	-	9	0.15	-	-	55	0.90	-	-	21	1.50	-	-	-	-	23	2.88
埼玉県	-	-	14	0.09	1	0.01	42	0.27	1	0.02	27	0.66	-	-	-	-	14	1.56
千葉県	-	-	8	0.06	2	0.02	42	0.33	2	0.06	17	0.53	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	13	0.09	-	-	22	0.15	1	0.03	14	0.36	2	0.08	1	0.04	13	0.52
神奈川県	3	0.02	8	0.04	11	0.06	24	0.12	1	0.03	33	0.85	-	-	-	-	2	0.29
新潟県	-	-	5	0.08	-	-	61	1.00	-	-	15	1.36	-	-	-	-	3	0.25
富山県	-	-	2	0.07	-	-	3	0.10	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	6	1.20
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80
福井県	-	-	2	0.09	-	-	8	0.36	-	-	-	-	2	0.33	-	-	3	0.50
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	2	0.22	-	-	-	-	5	0.50
長野県	-	-	2	0.04	-	-	22	0.40	-	-	3	0.27	-	-	-	-	5	0.45
岐阜県	-	-	8	0.15	-	-	27	0.52	-	-	2	0.18	-	-	2	0.40	3	0.60
静岡県	-	-	1	0.01	-	-	20	0.23	-	-	7	0.35	-	-	-	-	7	0.78
愛知県	1	0.01	15	0.08	-	-	58	0.32	-	-	4	0.12	-	-	-	-	3	0.21
三重県	-	-	2	0.04	-	-	4	0.09	-	-	1	0.08	-	-	-	-	7	0.78
滋賀県	-	-	-	-	-	-	12	0.38	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.29
京都府	-	-	9	0.12	-	-	12	0.16	1	0.06	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	10	0.05	1	0.01	39	0.20	1	0.02	10	0.20	-	-	-	-	6	0.55
兵庫県	-	-	2	0.02	-	-	53	0.41	1	0.03	24	0.69	1	0.10	-	-	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	11	0.31	-	-	4	0.44	-	-	1	0.17	1	0.17
和歌山県	-	-	2	0.06	-	-	4	0.13	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	1	0.05	-	-	2	0.67	1	0.20	-	-	1	0.20
島根県	-	-	1	0.04	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	-	-	17	0.31	-	-	8	0.67	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	2	0.03	-	-	10	0.14	-	-	15	0.79	-	-	-	-	5	0.24
山口県	-	-	2	0.04	-	-	6	0.12	-	-	9	1.00	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	4	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	5	0.17	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	-	-	9	0.24	-	-	8	1.00	-	-	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	3	0.10	-	-	29	0.97	-	-	2	0.67	1	0.14	-	-	3	0.43
福岡県	-	-	10	0.08	7	0.06	43	0.36	5	0.19	41	1.58	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-	18	0.78	-	-	2	0.50	-	-	-	-	3	0.50
長崎県	-	-	-	-	-	-	21	0.48	-	-	7	0.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	4	0.08	-	-	14	0.29	1	0.11	14	1.56	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	1	0.03	1	0.03	12	0.33	-	-	5	1.00	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	-	-	34	0.94	-	-	9	1.50	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	3	0.05	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	7	0.21	-	-	6	0.60	-	-	5	0.71	20	2.86

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年50週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	12	0.03	6	0.01	3368
北海道	-	-	-	-	182
青森県	-	-	1	0.17	21
岩手県	-	-	-	-	27
宮城県	1	0.08	-	-	72
秋田県	-	-	-	-	14
山形県	-	-	-	-	50
福島県	1	0.14	-	-	104
茨城県	-	-	-	-	15
栃木県	-	-	-	-	56
群馬県	-	-	-	-	41
埼玉県	-	-	-	-	121
千葉県	1	0.11	-	-	60
東京都	2	0.08	2	0.08	115
神奈川県	-	-	-	-	137
新潟県	2	0.17	-	-	41
富山県	-	-	-	-	9
石川県	-	-	-	-	32
福井県	-	-	-	-	17
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	52
静岡県	-	-	-	-	47
愛知県	4	0.29	-	-	219
三重県	-	-	-	-	47
滋賀県	-	-	-	-	14
京都府	-	-	-	-	55
大阪府	-	-	-	-	460
兵庫県	-	-	-	-	211
奈良県	-	-	-	-	23
和歌山県	-	-	-	-	35
鳥取県	-	-	-	-	70
島根県	-	-	-	-	8
岡山県	-	-	-	-	31
広島県	-	-	-	-	99
山口県	-	-	-	-	112
徳島県	-	-	-	-	28
香川県	-	-	-	-	53
愛媛県	-	-	-	-	46
高知県	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	298
佐賀県	1	0.17	-	-	45
長崎県	-	-	-	-	25
熊本県	-	-	-	-	99
大分県	-	-	3	0.27	50
宮崎県	-	-	-	-	62
鹿児島県	-	-	-	-	42
沖縄県	-	-	-	-	11

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年50週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						結核		細菌性赤痢		ウエストナイル熱	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		サル		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年50週

	エキノコックス症		インフルエンザ(H5N1)	
	犬		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	5
北海道	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第9巻 第50号 2007年12月28日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。